### テンジクダイ科の新分類体系にもとづく 亜科・族・属の標準和名の提唱

馬渕浩司 1・林 公義 2・Thomas H. Fraser<sup>3,4</sup>

- 1 〒 277-8564 千葉県柏市柏の葉 5-1-5 東京大学大気海洋研究所
- 2 〒 239-0812 神奈川県横須賀市小原台 61-6
- <sup>3</sup> Florida Museum of Natural History, University of Florida, Dickinson Hall, Museum Road, Gainesville, Florida, 32611, United States

(2014年8月4日受付; 2015年1月5日改訂; 2015年1月6日受理)

キーワード:オニイシモチ亜科,コミナトテンジクダイ亜科,ヌメリテンジクダイ亜科,コミナトテンジクダイ属,スジイシモチ属、ツマグロイシモチ属

# 魚類学雜誌 Japanese Journal of Ichthyology

© The Ichthyological Society of Japan 2015

Kohji Mabuchi\*, Masayoshi Hayashi and Thomas H. Fraser. 2015. Proposal of standard Japanese names for apogonid subfamilies, tribes and genera based on the new systematics proposed by Mabuchi and others in 2014. Japan. J. Ichthyol., 62(1): 29-49.

**Abstract** A recent revision of the systematics of the family Apogonidae recognized four subfamilies (two being new), 14 tribes (all new) and 38 genera, one of which was new. Fifteen of the genera recognized had formerly been subgenera of *Apogon* or *Rhabdamia*, and lacked standard Japanese names, except for *Apogonichthyoides*, *Nectamia sensu stricto* and *Zoramia*. All apogonid subfamilies, tribes and genera occurring in Japanese waters are herein given fixed standard Japanese names. Based on the rules operationally proposed here, twenty-five new standard Japanese names were given to three subfamilies, 13 tribes and 9 genera, a name-baring type for each standard Japanese name (at generic level for family, subfamily and tribe level taxa, and a specific level for genera) being designated for each higher taxon occurring in Japanese waters. Additionally, a new standard Japanese name, Senou-hikari-ishimochi, was proposed for a Japanese species, *Siphamia senoui*, with the holotype designated as the type for the Japanese name.

\*Corresponding author: Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, 5–1–5 Kashiwanoha, Kashiwa, Chiba 277–8564, Japan (e-mail: mabuchi@aori.u-tokyo.ac.jp)

スキ亜目テンジクダイ科は 354 種を含む大きな科である (Eschmeyer and Fong, 2014). 以前は本科に含まれていたヤセムツ亜科がJohnson (1984) により別の科に昇格した後,本科には伝統的に2つの亜科,テンジクダイ亜科Apogoninae とクダリボウズギス亜科 Pseudaminaeが認められてきた.本科に属する種の大半,例えば Nelson (2006) では 273 種中の約 260 種は前者に含まれ,さらにそのうちの多くはテンジクダイ属 Apogon Lacepède, 1801 に分類されてきた.一方のクダリボウズギス亜科には、Baldwin and

Johnson (1999) 以来,次の4属が含まれている: クダリボウズギス属 *Gymnapogon* Regan, 1905, ク ダリボウズギスモドキ属 *Pseudamiops* Smith, 1954, ヌメリテンジクダイ属 *Pseudamia* Bleeker, 1865, お よび *Paxton* Baldwin and Johnson, 1999 (標準和名な し).

現在のとくにテンジクダイ亜科の分類体系の基礎となったのは、骨学的解析にもとづく Fraser (1972) の研究である。その中でテンジクダイ属は、少なくとも 100 種を含む本科内最大の属とされ、全体としての単系統性に疑問が残されながらも、内部に 10

<sup>&</sup>lt;sup>4</sup> Mote Marine Laboratory, 1600 Ken Thompson Parkway, Sarasota, Florida 34236, United States

の亜属が認められた. その後, 多くの著者がこの 暫定的な分類体系を踏襲し, テンジクダイ属は 種 数が3桁に上る巨大な属とみなされてきた.

21世紀に入って Bergman (2004) により頭部側線管の形態比較にもとづく分岐学的解析が行われ、テンジクダイ属内のそれまでの亜属を属に格上げすることが提案された. 以来、テンジクダイ属内の亜属やサブグループを、形態学的な再検討を行った上で属に格上げする研究が発表されており、Greenfield et al. (2005) による Zoramia、Fraser (2008) による Nectamia、Fraser and Allen (2010) による Apogonichthyoides 等が例としてあげられる. さらに、Randall (2005) のように、図鑑の中においてかつての亜属を属に格上げする動きも出てきている.

近年では、ミトコンドリア (mt) DNA の塩基配 列にもとづく分子系統解析からも分類体系の再検討 を促す研究成果が提出されている. 例えば本稿の 著者の一人(馬渕)を含むグループは、テンジク ダイ属の中でも最大の亜属である Ostorhinchus Lacepède, 1802 [Fraser (1972) では Nectamia Jordan, 1917. 詳しくは Gon (1987) を参照 ] では、体表の 斑紋の特徴(縦帯,横帯,その他)ごとに別の系 統群を形成することを指摘した (Mabuchi et al., 2006). また別の研究グループは、これまでのクダ リボウズギス亜科は単系統群ではなく、ヌメリテン ジクダイ属が科内のもっとも根元で分岐する一方 で、 クダリボウズギス属はテンジクダイ亜科の内部 に位置づけられることを指摘した(Thacker and Roje, 2009). しかし、これらの研究は、Mabuchi et al. (2006) は 47 種, Thacker and Roje (2009) は 33 種と解析に含めた種の数が少なく、また属・亜 属の網羅度も低かったので [詳しくは Mabuchi et al. (2014) の Table 1 を参照 ], テンジクダイ科全 体の分類体系を見直す基礎とするには不十分で あった.

このような状況の中、本稿の著者の一人(馬渕)を含む研究グループは、これらの問題点をほぼクリアした大規模な分子系統解析(120種についてmtDNAの3領域と核DNAの2領域を解析:全40属・亜属中の33属・亜属を網羅)を行い、さらに既知の形態の知見に再検討を加えた上で、以下のような新しい分類体系を提唱した(Mabuchi et al., 2014)。まず、科内に4つの亜科を立て、最大の亜科、Apogoninaeの下に新たに14の族を設けた。また、従来のテンジクダイ属(Apogon)の中の亜属はほぼすべて属に昇格させ、新たな属(Fibramia Fraser and Mabuchi, 2014)も一つ設けた。

この新しい分類体系を採用する場合,新たに設けられたり,範囲の変わった亜科・族・属には,まだ標準和名が確定されていない.そこで本稿では,テンジクダイ科のこの新しい分類体系の骨組みを紹介するとともに,日本産の種を含むタクサについて標準和名を検討し,必要な場合は新しい標準和名を提唱した.さらに,これらの標準和名の安定化と今後の改訂における利便性に資するため,日本から知られるすべての属以上のタクサについて標準和名の基準タクサを指定した.

なお、近年のテンジクダイ科(とハゼ亜目)を対象とした一部の分子系統学的研究では、従来のテンジクダイ科の内部にハタンポ科が含まれるという結果を提出している。mtDNAの3つまたは4つの遺伝子領域の解析にもとづくThacker and Roje (2009) およびThacker (2014) の研究がそれだが、一方で、硬骨魚類全体を対象とし、より多くの遺伝子領域(mtDNAの1遺伝子と核DNAの20遺伝子)を使用したBetancur-R et al. (2013)では、ハタンポ科はテンジクダイ科とは大きく離れ、アオバダイ科と強固な単系統群を形成している。本稿では、Mabuchi et al. (2014)で提唱されている分類体系を基礎とし、ハタンポ科は扱わない。

#### 方 法

標準和名の検討 テンジクダイ科の新分類体系 (Mabuchi et al., 2014) における属とそれより上位のタクサ (科・亜科・族:以下「属グループ」) について、日本産の種を含むものについて標準和名を検討した (以下の2つの属に関しては、亜属の標準和名についても属以上の検討方法に倣って検討を行った: Ostorhinchus、Rhabdamia Weber, 1909).検討に当たっては以下の3つのルール (R1, R2, R3) を策定し、従った.

R1:属・属グループの標準和名は、原則として その属・属グループの学名のタイプ種・属に対応 する和名と同じにする.

R2: 学名のタイプ種・属が外国産である場合は、R1にもかかわらず日本産の普通の種・属の名称から選ぶ. なお、本稿で「普通の種」とは、国内において比較的広く分布し、かつ平均的な外見をもつ種を指すとする. 「普通の属」は、このような「普通種」を含む属とする.

R3:含まれる代表的な種・属の多くが共通の語 幹をもっており、その語幹が他の属・属グループ 内の名称にほぼ存在しない場合は、R1 および R2 にもかかわらず、その語幹を属・属グループの標 準和名とする。

以上3つのルールのうち,R1とR2は森岡(1989)を参考に,R3はさらに瀬能(2002)の「標準和名提唱・変更に際してのガイドライン(案)」[以下,瀬能(2002)]の4の10を参考にして策定した.

基準タクソンの選定 新しい標準和名の提唱に際しては、瀬能(2002)に従い、基準となるタクソン(族以上のタクソンには基準属、属には基準種)を指定した。また、標準和名が既にあるものに関しても、統一性と今後の利便性のため、新たに基準タクソンを指定した。基準タクソンの指定に際しては、標準和名を提唱する際の上の3つのルールとの整合性をとるために以下の2つのルール(Ri、Rii)を策定し、従った。

Ri:原則として,属・属グループの標準和名と同じ名称をもつ種・属が存在する場合は,その種・属を基準種・属にする.

Rii:共通する語幹が属・属グループの標準和名になっている場合、その語幹を標準和名とする種が存在するケースでは、その種・その種を含む属を基準種・属とする。そうでないケース(今回は結果として生じなかった)では、共通する語幹を標準和名に含む「普通の種・属」(上述)から選ぶ。

以上から、とくに上述の R2 が適用された場合に明白であるが、標準和名の基準種および基準属は学名のそれと異なる場合がある。このため、標準和名の命名体系は学名のそれとは独立したものとなる。このことを明白にするために、標準和名の基準種および基準属は標準和名で表し(学名のタイプは学名で表記)、英文で作成した表中でもローマ字表記をした標準和名で表した。また、本文中で学名の基準属・種は「タイプ属・種」、標準和名の基準属・種は「基準属・種」と呼び分けた。

基礎とする分類体系 本論文では、Mabuchi et al. (2014) の提唱した分類体系を用いたが、直後に出版された Fraser (2014) の知見も取り入れて Ozichthys Fraser、2014 を新属として加えた。 テンジクダイ科の各属に含まれる種については Mabuchi et al. (2014) の Appendix A に基づいた。 日本産の種については基本的に林 (2013) に従ったが、Gon and Allen(2012)に従って Siphamia senoui Gon and Allen、2012 を日本産の種に加えた。 Table 1–3 に記載した標準和名はヘボン式のローマ字表記を行った。

#### 結果と考察

日本産の種を含む各タクソンの標準和名は,上 述のR1からR3のルールに従ってFig. 1 および Fig. 2 のように決定した. 前者は科と亜科に焦点を 当てた分類体系、後者は Apogoninae 内の族と属に 絞った分類体系である. また、各タクサの基準タク サは上述のRiとRiiのルールに従って、以下の3 つの表のように選定した. すなわち, Table 1 は科お よび亜科の基準属について、Table 2 は族の基準属 について、Table 3 は属の基準種についてまとめた. 各タクサに含まれる日本産の種については、Table 4 にまとめた. 以下, 学名のアルファベット順に, 各 タクサについて標準和名, 基準タクサの検討結果を 詳述する. なお本稿では、初出時および項目名と して挙げた際の属名には記載者と記載年を記した が、文献は引用していない. これらの文献につい ては、Catalog of Fishes online (http://researcharchive. calacademy.org/research/ichthyology/catalog/fishcatget. asp?genid=7868) から調べることができる.

## Family Apogonidae テンジクダイ科

39 属を含む. 日本産 26 属のうち 12 属は「テンジクダイ」を、11 属は「イシモチ」を標準和名の語幹にもつ. 後者の「イシモチ」は二べ科の種について、標準和名ではないものの広く使われる俗称に用いられる. したがって R3 を適用して本科の標準和名はテンジクダイ科とするのが適当と考えた. 結果として既存の標準和名を保持することと同じ. 学名のタイプ属は Apogon. 標準和名の基準属は、Rii によりテンジクダイ Jaydia lineata (Temminck and Schlegel, 1843) が含まれるツマグロイシモチ属(p. 46 で新称定義)となる. 本科に含まれる属や日本産の種(総計 98 種)については後述.

Four Subfamilies in Family Apogonidae テンジクダイ科内の 4 つの亜科(Fig. 1)

> Subfamily Amioidinae オニイシモチ亜科(新称)

以下の2属を含む.タイプ属はAmioides(オニイシモチ属).本タイプ属には日本に分布する種が含まれるので、R1により標準和名はオニイシモチ亜科、Riにより和名の基準属はオニイシモチ属となる.

**Table 1.** Standard Japanese names of the family Apogonidae and its subfamilies with their type genera\* (corresponding scientific names and type genera indicated on left)

Scientific name		Standard Japanese name**	
Family		Family ("ka" in Japanese)	
or Subfamily	Type genus	or Subfamily ("aka" in Japanese)	Type genus*** ("zoku" in Japanese)
FAMILY			
Apogonidae	Apogon	Tenjikudai-ka	Tsumaguro-ishimochi-zoku (Jaydia)
SUBFAMILY			
Amioidinae	Amioides	Oni-ishimochi-aka (new)	Oni-ishimochi-zoku (Amioides)
Apogoninae	Apogon	Kominato-tenjikudai-aka (new)	Kominato-tenjikudai-zoku (new) (Apogon)
Paxtoninae	Paxton	-	_
Pseudamiinae	Pseudamia	Numeri-tenjikudai-aka (new)	Numeri-tenjikudai-zoku (Pseudamia)

<sup>\*</sup>Standard Japanese names, so-called, Japanese scientific names, have their own type taxa, differing from those used for scientific names worldwide. Accordingly, a genus group has two different kinds of type taxa in Japan: one for scientific name and the other for the standard Japanese name. Although the two types are often identical, they may differ. For rules (i)-(ii) designating type genera for standard Japanese names, see footnote (\*\*\*) below. The criteria for fixing a new standard Japanese name are outlined in footnote (\*\*) below. The standard Japanese names proposed by previous authors were all retained here, except for those for the following redefined taxa: Apogoninae, Pseudaminae and Apogon.

**Table 2.** Standard Japanese names of the tribes of the subfamily Apogoninae (all new) with their type genera (corresponding scientific names and type genera indicated on left)

Scientific name		Standard Japanese name*	
Tribe	Type genus	Tribe ("zoku**" in Japanese)	Type genus*** ("zoku**" in Japanese)
APOGONINAE			
Apogonichthyini	Apogonichthys	Nan'yo-mato-ishimochi-zoku	Nan'yo-mato-ishimochi-zoku (Apogonichthys)
Apogonini	Apogon	Kominato-tenjikudai-zoku	Kominato-tenjikudai-zoku (new) (Apogon)
Archamiini	Archamia	Atohiki-tenjikudai-zoku	Atohiki-tenjikudai-zoku (Taeniamia)
Cheilodipterini	Cheilodipterus	Yarai-ishimochi-zoku	Yarai-ishimochi-zoku (Cheilodipterus)
Glossamiini	Glossamia	Kagami-tenjikudai-zoku	Kagami-tenjikudai-zoku (new) (Yarica)
Gymnapogonini	Gymnapogon	Kudaribozugisu-zoku	Kudaribozugisu-zoku (Gymnapogon)
Lepidamiini	Lepidamia	_	_
Ostorhinchini	Ostorhinchus	Suji-ishimochi-zoku	Suji-ishimochi-zoku (new) (Ostorhinchus)
Pristiapogonini	Pristiapogon	Hitosuji-ishimochi-zoku	Hitosuji-ishimochi-zoku (new) (Pristiapogon)
Rhabdamiini	Rhabdamia	Sukashi-tenjikudai-zoku	Sukashi-tenjikudai-zoku (Rhabdamia)
Siphamiini	Siphamia	Hikari-ishimochi-zoku	Hikari-ishimochi-zoku (Siphamia)
Sphaeramiini	Sphaeramia	Manju-ishimochi-zoku	Manju-ishimochi-zoku (Sphaeramia)
Veruluxini	Verulux	Kurosuji-sukashi-tenjikudai-zoku	Kurosuji-sukashi-tenjikudai-zoku (new) (Verulux)
Zoramiini	Zoramia	Itohiki-tenjikudai-zoku	Itohiki-tenjikudai-zoku (Zoramia)

<sup>\*</sup>See footnote (\*\*), Table 1. Rule (2), which was not used in Table 1, was applied to Atohiki-tenjikudai-zoku (Archamiini) and Kagami-tenjikudai-zoku (Glossamiini). For other tribes, Rule (1) was applied. Lepidamiini does not have a standard Japanese name, not being represented in Japan.

<sup>\*\*</sup>The new standard Japanese name for a genus group is based on the Japanese name of the type genus of the scientific name (for example, the standard Japanese name for Amioidinae is Oni-ishimochi-aka, because the type genus for the scientific name of this subfamily is *Amioides*, called Oni-ishimochi-zoku in Japanese) [referred to herein as Rule (1), abbreviated to R1 in the Japanese text]. Another Japanese name is used when the type genus for the scientific name is not known from Japanese waters. In this case, the standard Japanese name is selected from a well-known typical Japanese representative genus [Rule (2), abbreviated to R2 in the Japanese text]. When the standard Japanese names of representative genera share a stem (and the stem is almost absent from the other genus group), the stem is used as the standard Japanese name [Rule (3), abbreviated to R3 in the Japanese text] (for example, Tenjikudai-ka for Apogonidae). Rule (1) was applied to all subfamilies but Paxtoninae, which does not occur in Japanese waters.

<sup>\*\*\*</sup>The name-bearing type genus for the standard Japanese name of a genus group is that genus having the corresponding Japanese name (for example, type genus for the subfamily "Oni-ishimochi-aka" is the genus "Oni-ishimochi-zoku") [referred to as Rule (i), abbreviated to Ri in the Japanese text]. However, when a shared stem is used as the standard Japanese name of a genus group, the type genus is that genus including the species for which the standard Japanese name is the stem [Rule (ii), abbreviated to Rii in the Japanese text] (for example, the type genus for the family "Tenjikudai-ka" is Tsumaguro-ishimochi-zoku (*Jaydia*), because the name "Tenjikudai" has been used for the species *Jaydia lineata*). Rule (i) was applied to all subfamilies, except Paxtoninae.

<sup>\*\*</sup> Tribe and genus are both called "zoku" in Japanese, but are written with different Chinese characters.

<sup>\*\*\*</sup> See footnote (\*\*\*), Table 1. Rule (i) was applied to all tribes.

Table 3. Standard Japanese names of the genera of Apogonidae with their type species (corresponding scientific names and type species indicated on left)

Scientific name		Standard Japanese name*	
Genus	Type species	Genus ("zoku" in Japanese)	Type species**
AMIOIDINAE			
Amioides	Amia grossidens	Oni-ishimochi-zoku	Oni-ishimochi (A. polyacanthus)
Holapogon	Apogon maximus	I	1
APOGONINAE			
Apogonichthyini			
Apogonichthys	Apogonichthys perdix	Nan'yo-mato-ishimochi-zoku	Nan'yo-mato-ishimochi (A. perdix)
Foa	Fowleria brachygrammus	Taiwan-mato-ishimochi-zoku	Taiwan-mato-ishimochi (F. brachygramma)
Fowleria	Apogon auritus	Shibori-zoku	Shibori (F variegata)
Neamia	Neamia octospina	Yatsutoge-tenjikudai-zoku	Yatsutoge-tenjikudai (N. octospina)
Ozichthys***	Ozichthys albimaculosus	I	1
Vincentia	Vincentia waterhousii	I	ı
Apogonini			
Apogon	Apogon ruber	Kominato-tenjikudai-zoku (new)	Kominato-tenjikudai (A. kominatoensis)
Astrapogon	Apogonichthys stellatus	I	I
Paroncheilus	Paroncheilus stauchi	I	ı
Phaeoptyx	Amia conklini	I	ı
Zapogon	Apogon evermanni	Tomari-hiiro-tenjikudai-zoku (new)	Tomari-hiiro-tenjikudai (Z. evermanni)
Archamiini			
Archamia	Apogon bleekeri	I	1
Taeniamia	Archamia leai	Atohiki-tenjikudai-zoku	Atohiki-tenjikudai (T. macroptera)
Cheilodipterini			
Cheilodipterus	Cheilodipterus lineatus	Yarai-ishimochi-zoku	Yarai-ishimochi (C. quinquelineatus)
Glossamiini			
Glossamia	Apogon aprion	I	1
Yarica	Apogon torresiensis	Kagami-tenjikudai-zoku (new)	Kagami-tenjikudai (Y. hyalosoma)
Gymnapogonini			
Cercamia	Cercamia cladara	Sakura-tenjikudai-zoku	Sakura-tenjikudai (C. eremia)
Gymnapogon	Gymnapogon japonicus	Kudaribozugisu-zoku	Kudaribozugisu (G. japonicus)
Lachneratus	Lachneratus phasmaticus	I	ı
Pseudamiops	Pseudamiops pellucidus	Kudaribozugisu-modoki-zoku	Kudaribozugisu-modoki (P. gracilicauda)
Lepidamiini			
Lepidamia	Apogon kalosoma	I	I

Scientific name		Standard Japanese name*	
Genus	Type species	Genus ("zoku" in Japanese)	Type species**
Ostorhinchini			
Ostorhinchus	Ostorhinchus fleurieu	Suji-ishimochi-zoku (new)	Suji-ishimochi (O. cookii)
Pristiapogonini			
Pristiapogon	Apogon fraenatus	Hitosuji-ishimochi-zoku (new)	Hitosuji-ishimochi (P. fraenatus)
Pristicon	Apogon trimaculatus	Akahire-ishimochi-zoku (new)	Akahire-ishimochi (P. rufus)
Rhabdamiini			
Rhabdamia	Rhabdamia clupeiformis	Sukashi-tenjikudai-zoku	Sukashi-tenjikudai (R. gracilis)
Siphamiini			
Siphamia	Siphamia tubifer	Hikari-ishimochi-zoku	Hikari-ishimochi (S. tubifer)
Sphaeramiini			
Apogonichthyoides	Amia uninotata	Kakure-tenjikudai-zoku	Kakure-tenjikudai**** (A. timorensis)
Jaydia	Apogon ellioti	Tsumaguro-ishimochi-zoku (new)	Tsumaguro-ishimochi (J. truncata)
Nectamia	Apogon fuscus	Namida-tenjikudai-zoku	Namida-tenjikudai (N. savayensis)
Pterapogon	Pterapogon kauderni	ı	ı
Quinca	Quinca mirifica	ı	ı
Sphaeramia	Apogon nematopterus	Manju-ishimochi-zoku	Manju-ishimochi (S. nematoptera)
Veruluxini			
Verulux	Rhabdamia cypselurus	Kurosuji-sukashi-tenjikudai-zoku (new)	Kurosuji-sukashi-tenjikudai (V. cypselurus)
Zoramiini			
Fibramia	Fibramia thermalis	Sangiru-ishimochi-zoku (new)	Sangiru-ishimochi (F. thermalis)
Zoramia	Apogon graeffii	Itohiki-tenjikudai-zoku	Itohiki-tenjikudai (Z. leptacantha)
PAXTONINAE			
Paxton	Paxton concilians	I	I
PSEUDAMIINAE			
Pseudamia	Cheilodipterus polystigma	Numeri-tenjikudai-zoku	Numeri-tenjikudai**** (P. gelatinosa)

\* See footnote (\*\*), Table 1, replacing "genus group" with "genus", "type genus" with "type species", "well-known typical Japanese representative genus" with "well-known typical Japanese representative species" and "representative genera" with "representative species". Rule (2) was applied to Kominato-tenjikudai-zoku (Apogon), Kagami-tenjikudai-zoku (Varica) and Sukashi-tenjikudai-zoku (Rhabdamia). Rule (3) was applied to Atohiki-tenjikudai-zoku (Taeniamia), Suji-ishimochi-zoku (Ostorhinchus) and Akahire-ishimochi-zoku (Pristicon). Note that "Sukashi-tenjikudai-zoku" and "Atohiki-tenjikudai-zoku" are not \*\*See footnote (\*\*\*\*), Table 1 and footnote (\*), Table 3. Rule (ii) in Table 1 is modified here as follows: when a shared stem is used as the standard Japanese name of a genus, the type species is the species for which the standard Japanese name is the stem. Standard Japanese names for species were based on Hayashi (2013). Rule (ii) was applied to the above three genera, for which standard Japanese names were pronew names, having already been used.

posed following Rule (3).
\*\*\*Proposed by Fraser (2014).

<sup>\*\*\* &</sup>quot;Kakure-ishimochi" in Hayashi (2002), but corrected as "Kakure-tenjikudai", following Hayashi (2013).

<sup>\*\*\*\* &</sup>quot;Mumeri-tenjikudai" in Hayashi (2002), but corrected as "Numeri-tenjikudai", following Hayashi (2013).

**Table 4.** Japanese species of Apogonidae, allocated to subfamilies, tribes and genera (all listings alphabetical). Subgenera not included

Scientific name	Standard Japanese name
Subfamily Amioidinae	Oni-ishimochi-aka (new)
Amioides Smith and Radcliffe	
in Radcliffe, 1912	Oni-ishimochi-zoku
Amioides polyacanthus	Oni-ishimochi
Holapogon* Fraser, 1973	-
Subfamily Apogoninae	Kominato-tenjikudai-aka (new)
Tribe Apogonichthyini	Nan'yo-mato-ishimochi-zoku (new)
Apogonichthys Bleeker, 1854	Nan'yo-mato-ishimochi-zoku
A. ocellatus	Mato-shibori
A. waikiki	Hawai-mato-ishimochi
Foa Jordan and Evermann	
in Jordan and Seale, 1905	Taiwan-mato-ishimochi-zoku
F. sp.**	Taiwan-mato-ishimochi
Fowleria Jordan and Evermann, 1903	Shibori-zoku
F. isostigma	Naha-mato-ishimochi
F. marmorata	Obi-shibori
F. vaiulae	Shibori-damashi
F. variegata	Shibori
Neamia Smith and Radcliffe	
in Radcliffe, 1912	Yatsutoge-tenjikudai-zoku
N. articycla	Kakushi-yatsutoge-tenjikudai
N. octospina	Yatsutoge-tenjikudai
Ozichthys* Fraser, 2014	_
Vincentia* Castelnau, 1872	_
Tribe Apogonini	Kominato-tenjikudai-zoku (new)
Apogon Lacepède, 1801	Kominato-tenjikudai-zoku (new)
A. caudicinctus	Togenaga-ishimochi
A. crassiceps	Akafuji-tenjikudai
A. doryssa	Yari-ishimochi
A. indicus	Ryukyu-ishimochi
A. kominatoensis	Kominato-tenjikudai
A. seminigracaudus	Oguro-tenjikudai
A. semiornatus	Yami-tenjikudai
A. susanae	Tomaru-tenjikudai
A. talboti	Akane-tenjikudai
A. unicolor	Hana-ishimochi
Astrapogon* Fowler, 1907	-
Paroncheilus* Smith, 1964	-
Phaeoptyx* Fraser and Robins, 1970	_
Zapogon Fraser, 1972	Tomari-hiiro-tenjikudai-zoku (new)
Zanogov grownanni	Tomori hiiro toniilaidoi

Tomari-hiiro-tenjikudai

Zapogon evermanni

Tribe Archamiini Archamiini Archamia* Gill, 1863 — Taeniamia Fraser, 2013 Atohiki-tenjikudai-zoku T bigutata T kagoshimanus*** Sumitsuki-atohiki-tenjikudai T kagoshimanus*** Sumitsuki-atohiki-tenjikudai T kagoshimanus*** T macroptera Atohiki-tenjikudai T zosterophora Kuroobi-atohiki-tenjikudai Tribe Cheilodipterini Yarai-ishimochi-zoku (newy) Cheilodipterus Lacepède, 1801 C artus C artus Kasumi-yarai-ishimochi C aintermedius Sudare-yarai-ishimochi C quinquelineatus Tribe Glossamiini Kagami-tenjikudai-zoku (new) Glossamia* Gill, 1863 Tarica Whitley, 1930 Kagami-tenjikudai Tribe Gymnapogonini Kudaribozugisu-zoku (new) Cercamia Randall and Smith, 1988 C eremia Sakura-tenjikudai Gymnapogon Regan, 1905 Kudaribozugisu-zoku G - philippinus G - vanderbili**** Komon-kudaribozugisu G - vanderbili**** Lachneratus* Fraser and Struhsaker, 1991 Pseudamiops Smith, 1954 Ry gracilicauda Tribe Lepidamiini*	Scientific name	Standard Japanese name
Taeniamia Fraser, 2013 T. bigutata T. kagoshimanus*** T. kagoshimanus*** Sumitsuki-atohiki-tenjikudai T. macroptera Atohiki-tenjikudai T. zosterophora Kuroobi-atohiki-tenjikudai Tribe Cheilodipterini Yarai-ishimochi-zoku (new) Cheilodipterini C. artus C. artus Sudare-yarai-ishimochi C. intermedius Sudare-yarai-ishimochi C. macrodon Ryukyu-yarai-ishimochi Tribe Glossamiini Glossamia* Gill, 1863 - Tribe Gymnapogonini Kagami-tenjikudai-zoku (new) Warai-ahimochi Kagami-tenjikudai-zoku (new) Gossamia* Gill, 1863 - Kagami-tenjikudai-zoku (new) Kagami-tenjikudai Tribe Gymnapogonini Kudaribozugisu-zoku (new) Kudaribozugisu-zoku (new) Cercamia Sakura-tenjikudai Gymnapogon Regan, 1905 Kudaribozugisu-zoku Kudaribozugisu-modoki G. inderbilit**** Komon-kudaribozugisu Lachneratus* Fraser and Strubsaker, 1991 Pseudamiops Smith, 1954 Ryacilicanda Kudaribozugisu-modoki Tribe Lepidamiini* Lipidamiini* Lipidamiiniiniiniiniiniiniiniiniiniiniiniiniin	Tribe Archamiini	Atohiki-tenjikudai-zoku (new)
T. biguttata T. kagoshimanus**** Sumitsuki-atohiki-tenjikudai T. kagoshimanus**** Sumitsuki-atohiki-tenjikudai T. zosterophora Kuroobi-atohiki-tenjikudai Tribe Cheilodipternii Yrarai-ishimochi-zoku (new) Cheilodipterus Lacepède, 1801 C. artus Kasumi-yarai-ishimochi C. intermedius C. intermedius C. macrodon Ryukyu-yarai-ishimochi C. quinquelineatus Tribe Glossamini Kagami-tenjikudai-zoku (new) Glossamia* Gill, 1863 - Varica Whitley, 1930 Kagami-tenjikudai-zoku (new) Varica hyalosoma Kagami-tenjikudai-zoku (new) Cercamia Randall and Smith, 1988 Sakura-tenjikudai-zoku C. eremia Gymnapogon Regan, 1905 Kudaribozugisu-zoku G. japomicus G. philippinus G. vanderbilti**** Kudaribozugisu G. vanderbilti**** Kudaribozugisu Lachneratus* Fraser and Struhsaker, 1991 Pseudamiops Smith, 1954 Pseudamiops Smith, 1954 Ryracalda Kudaribozugisu-modoki Tribe Lepidamiini* Lepidamia* Gill, 1863 Tribe Ostorhinchini Suji-ishimochi-zoku (new) Ostorhinchus Lacepède, 1802 Suji-ishimochi-zoku (new) O. angustatus Usujima-ishimochi O. apogonoides Aohana-tenjikudai O. aureus Aosuji-tenjikudai O. compressus Hira-tenjikudai O. dispar C. endekataenia C. endekataenia C. fisciatus C. fisciatus C. fisciatus C. fistasuji-ishimochi C. ofistatii	Archamia* Gill, 1863	_
T. kagoshimanus***  T. macroptera Atohiki-tenjikudai T. macroptera Ruroobi-atohiki-tenjikudai T. zosterophora Ruroobi-atohiki-tenjikudai Tribe Cheilodipterini Cheilodipterins Lacepède, 1801 C. artus Rasumi-yarai-ishimochi C. intermedius Ryukyu-yarai-ishimochi C. macrodon Ryukyu-yarai-ishimochi Ryukyu-yarai-ishimochi Rigami-tenjikudai-zoku (new) Glossamia* Gill, 1863	Taeniamia Fraser, 2013	Atohiki-tenjikudai-zoku
T. macroptera T. zosterophora Tribe Cheliodipterus Lacepède, 1801 C. arus C. a	T. biguttata	Futahoshi-atohiki-tenjikudai
Tribe Cheilodipterni Yarai-ishimochi-zoku (new) Cheilodipterus Lacepède, 1801 C. artus C. artus C. artus Sudare-yarai-ishimochi C. intermedius C. intermedius C. macrodon R. Ryukyu-yarai-ishimochi C. quinquelineatus Tribe Glossamiin Glossamia* Gill, 1863 - Yarica Whitley, 1930 Kagami-tenjikudai-zoku (new) Yarica hyalosoma Tribe Gymnapogonin C. eremia Gymnapogonin C. eremia Sakura-tenjikudai Gymnapogon Regan, 1905 G. japonicus G. philippinus G. onderbilit**** Lachneranus* Fraser and Struhsaker, 1991 Pseudamiops Smith, 1954 R. garailenjini* Lepidamiin* Lepidamiin* Lepidamiin* Lepidamiin* Congogonides Aohana-tenjikudai O. angustatus O. angustatus O. angustatus O. cookii O. dispar O. doederleini O. doederleini O. endekataenia O. franssedai O. fusuoii O. fusuoii Futasuji-ishimochi Cheidodipterus Lacuji-ishimochi Congussatus O. franssedai O. fusuoii Futasuji-ishimochi Cheil ishimochi Chew) Varai-ishimochi Varai-ishimochi Vagari-ishimochi C. dispar C. anderbility Cartus C. anderbility Cartus C. anderbility Cartus C. anderbility Cartus Cartus Cartus Cartus Cagami-tenjikudai Cartus Cagami-tenjikudai Cartus Cagami-tenjikudai Cagami-tenjiku	T. kagoshimanus***	Sumitsuki-atohiki-tenjikudai
Tribe Cheilodipterus Lacepède, 1801  C. artus  C. artus  C. intermedius  C. macrodon  C. quinquelineatus  Tribe Glossamiini  Glossamia* Gill, 1863	T. macroptera	Atohiki-tenjikudai
Chellodipterus Lacepède, 1801 C. artus C. artus C. intermedius C. intermedius C. macrodon Ryukyu-yarai-ishimochi C. quinquelineatus Tribe Glossamiini Glossamiini Glossamiini Glossamiini Glossamia* Gill, 1863 — Yarica Whitley, 1930 Kagami-tenjikudai-zoku (new) Yarica hyalosoma Tribe Gymnapogonini Cercamia Randall and Smith, 1988 C. eremia Gymnapogon Regan, 1905 G. japonicus G. philippinus G. vanderbilit**** Lachneratus* Fraser and Struhsaker, 1991 Pseudamiops Smith, 1954 R gracilicauda Tribe Lepidamiini* — Lepidamia* Gill, 1863 — Lepidamia* Gill, 1863 — Lepidamia* Gill, 1863 — Tribe Ostorhinchus Lacepède, 1802 O. angustatus O. cheni O. angustatus O. cheni O. dispar O. doederleini O. dospar O. farsasedai O. fassasimochi Futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi O. farsasedai O. fassasimochi Futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi O. farsasedai O. fassasimochi Futasuji-ishimochi O. fassasimochi Futasuji-ishimochi O. fassasedai O. fassasimochi Futasuji-ishimochi O. fassasedai O. fassasimochi Futasuji-ishimochi O. fassasedai O. fassasimochi Futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi O. fassasedai O. fassasimochi Futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi O. fassasedai O. fassasimochi Futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi O. fassasedai O. fass	T. zosterophora	Kuroobi-atohiki-tenjikudai
C. artus C. intermedius C. intermedius C. macrodon Ryukyu-yarai-ishimochi C. quinquelineatus Tribe Glossamiini Glossamia* Gill, 1863 Yarica Whitley, 1930 Xagami-tenjikudai-zoku (new) Yarica hyalosoma Kagami-tenjikudai Tribe Gymnapogonini Kudaribozugisu-zoku (new) Yarica hyalosoma Kagami-tenjikudai Tribe Gymnapogonini Kudaribozugisu-zoku (new)  Cercamia Randall and Smith, 1988 Sakura-tenjikudai Gymnapogon Regan, 1905 Kudaribozugisu-zoku G. japonicus G. japonicus G. philippinus G. vanderbilti**** Komon-kudaribozugisu Lachneratus* Fraser and Struhsaker, 1991 Pseudamiops Smith, 1954 P. gracilicauda Kudaribozugisu-modoki-zoku P. gracilicauda Kudaribozugisu-modoki Tribe Lepidamiini* Lepidamiia* Lepidamia* Gill, 1863 Tribe Ostorhinchini Suji-ishimochi-zoku (new) Ostorhinchus Lacepède, 1802 O. angustatus O. angustatus O. angustatus O. angustatus O. cheni Munahoshi-ishimochi O. compressus Hira-tenjikudai O. cookii Suji-ishimochi O. dispar Kaburaya-tenjikudai O. doederleini O. doederleini O. angastatus O. franssedai O. franssedai O. fikuii Futasuji-ishimochi O. faranssedai O. fikuii	Tribe Cheilodipterini	Yarai-ishimochi-zoku (new)
C. intermedius C. macrodon Ryukyu-yarai-ishimochi C. quinquelineatus Tribe Glossamiin Glossamia* Gill, 1863 - Yarica Whitley, 1930 Kagami-tenjikudai-zoku (new) Kagami-tenjikudai-zoku (new) Kagami-tenjikudai-zoku (new) Kagami-tenjikudai Tribe Gymnapogonini Kudaribozugisu-zoku (new) Cercamia Randall and Smith, 1988 Sakura-tenjikudai Cymnapogon Regan, 1905 Kudaribozugisu-zoku G. paponicus Kudaribozugisu-zoku Kudaribozugisu-zoku G. paponicus Kudaribozugisu-zoku Kudaribozugisu-oku G. paponicus Kudaribozugisu-oku Kudaribozugisu G. hillippinus Nan'yo-kudaribozugisu Komon-kudaribozugisu Lachneratus* Fraser and Struhsaker, 1991 Pseudamiops Smith, 1954 Rudaribozugisu-modoki Tribe Lepidamiin* Lepidamia* Gill, 1863 - Tribe Ostorhinchini Suji-ishimochi-zoku (new) Ostorhinchus Lacepède, 1802 Suji-ishimochi-zoku (new) O. angustatus O. apogonoides Aohana-tenjikudai O. compressus Hira-tenjikudai O. cookii Munahoshi-ishimochi O. compressus Hira-tenjikudai O. doederleini O. dispar O. doederleini O. suji-ishimochi O. fasciatus O. franssedai O. fukuii Futasuji-ishimochi O. futasuji-ishimochi O. futasuji-ishimochi Nise-futasuji-ishimochi O. futasuji-ishimochi Nise-futasuji-ishimochi O. futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi	Cheilodipterus Lacepède, 1801	Yarai-ishimochi-zoku
C. macrodon C. quinquelineatus Yarai-ishimochi Yarai-ishimochi C. quinquelineatus Yarai-ishimochi Kagami-tenjikudai-zoku (new) Glossamiini Glossamiini Kagami-tenjikudai-zoku (new) Yarica Whitley, 1930 Kagami-tenjikudai Tribe Gymnapogonini Kudaribozugisu-zoku (new) Yarica hyalosoma Tribe Gymnapogonini Kudaribozugisu-zoku (new) Cercamia Randall and Smith, 1988 Sakura-tenjikudai Cymnapogon Regan, 1905 Kudaribozugisu-zoku G. japonicus Kudaribozugisu G. philippinus Nan'yo-kudaribozugisu G. vanderbilti*** Komon-kudaribozugisu Lachneratus* Fraser and Struhsaker, 1991 Pseudamiops Smith, 1954 P. gracilicauda Kudaribozugisu-modoki Tribe Lepidamiini* Lepidamiia* Lepidamiia* Lepidamiia* Usuji-ishimochi-zoku (new) Ostorhinchus Lacepède, 1802 Suji-ishimochi-zoku (new) O. angustatus O. angustatus O. dogonoides Aohana-tenjikudai O. compressus Hira-tenjikudai O. cookii Munahoshi-ishimochi O. dospar Kaburaya-tenjikudai O. doederleini O. doederleini O. doederleini O. fixusi Futasuji-ishimochi O. franssedai O. fixusii Futasuji-ishimochi O. fixusii	C. artus	Kasumi-yarai-ishimochi
C. quinquelineatus Tribe Glossamiini Kagami-tenjikudai-zoku (new) Glossamia* Gill, 1863	C. intermedius	Sudare-yarai-ishimochi
Tribe Glossamiini  Glossamia* Gill, 1863  Yarica Whitley, 1930  Yarica hyalosoma  Tribe Gymnapogonini  Cercamia Randall and Smith, 1988  C. eremia  Gymnapogon Regan, 1905  G. japonicus  G. philippinus  G. vanderbilti****  Lachneratus* Fraser and Struhsaker, 1991  Pseudamiops Smith, 1954  R. gracilicauda  Tribe Gymnapogon Smith, 1954  R. gracilicauda  Tribe Lepidamiini*  Lepidamia* Gill, 1863  Tribe Ostorhinchini  Ostorhinchus Lacepède, 1802  O. angustatus  O. angustatus  O. coheni  O. compressus  O. cookii  O. dispar  O. doederleini  O. fissciatus  O. fasciatus  O. fanssedai  O. fissciatus  O. fissciatus  O. fissciatus  O. fissciatus  O. fissuiti	C. macrodon	Ryukyu-yarai-ishimochi
Glossamia* Gill, 1863 Yarica Whitley, 1930 Yarica hyalosoma Tribe Gymnapogonini Cercamia Randall and Smith, 1988 C. eremia Gymnapogon Regan, 1905 G. japonicus G. philippinus G. vanderbilti****  Lachneratus* Fraser and Struhsaker, 1991 Pseudamiops Smith, 1954 P. gracilicauda Tribe Lepidamiini* Lepidamiini* Lepidamia* Gill, 1863 Tribe Ostorhinchini Ostorhinchus Lacepède, 1802 O. angustatus O. angustatus O. aneus O. cookii O. dispar O. doederleini O. doederleini O. fasciatus O. franssedai O. franssedai O. faranssedai O. franssedai O. facciatus O. franssedai O. fiscatus O	C. quinquelineatus	Yarai-ishimochi
Yarica Whitley, 1930Kagami-tenjikudai-zoku (new)Yarica hyalosomaKagami-tenjikudaiTribe GymnapogoniniKudaribozugisu-zoku (new)Cercamia Randall and Smith, 1988Sakura-tenjikudaiC. eremiaSakura-tenjikudaiGymnapogon Regan, 1905Kudaribozugisu-zokuG. japonicusKudaribozugisuG. philippinusNan'yo-kudaribozugisuG. vanderbili****Komon-kudaribozugisuLachneratus* Fraser and Struhsaker, 1991-Pseudamiops Smith, 1954Kudaribozugisu-modoki-zokuP. gracilicaudaKudaribozugisu-modokiTribe Lepidamiini*-Lepidamia* Gill, 1863-Tribe OstorhinchiniSuji-ishimochi-zoku (new)Ostorhinchus Lacepède, 1802Suji-ishimochi-zoku (new)O. angustatusUsujima-ishimochiO. angustatusUsujima-ishimochiO. angustatusUsujima-ishimochiO. cheniMunahoshi-ishimochiO. cookiiSuji-ishimochiO. cookiiSuji-ishimochiO. doederleiniOsuji-ishimochiO. fasciatusFurai-ishimochiO. fasciatusFurai-ishimochiO. fasciatusNise-futasuji-ishimochiO. fasciatusNise-futasuji-ishimochiO. fukuiiFutasuji-ishimochi	Tribe Glossamiini	Kagami-tenjikudai-zoku (new)
Yarica hyalosomaKagami-tenjikudaiTribe GymnapogoniniKudaribozugisu-zoku (new)Cercamia Randall and Smith, 1988Sakura-tenjikudai-zokuC. eremiaSakura-tenjikudaiGymnapogon Regan, 1905Kudaribozugisu-zokuG. japonicusKudaribozugisuG. philippinusNan'yo-kudaribozugisuG. vanderbilit****Komon-kudaribozugisuLachneratus* Fraser and Struhsaker, 1991-Pseudamiops Smith, 1954Kudaribozugisu-modoki-zokuP. gracilicaudaKudaribozugisu-modokiTribe Lepidamiini*-Lepidamia* Gill, 1863-Tribe OstorhinchiniSuji-ishimochi-zoku (new)Ostorhinchus Lacepède, 1802Suji-ishimochi-zoku (new)O. angustatusUsujima-ishimochiO. apogonoidesAohana-tenjikudaiO. aureusAosuji-tenjikudaiO. cheniMunahoshi-ishimochiO. cookiiSuji-ishimochiO. doederleiniOsuji-ishimochiO. doederleiniOsuji-ishimochiO. fasciatusFurai-ishimochiO. franssedaiNise-futasuji-ishimochiO. fukuiiFutasuji-ishimochi	Glossamia* Gill, 1863	_
Tribe Gymnapogonini  Cercamia Randall and Smith, 1988  C. eremia  Sakura-tenjikudai  Gymnapogon Regan, 1905  Kudaribozugisu-zoku  Kudaribozugisu-zoku  Kudaribozugisu  G. philippinus  G. vanderbilti****  Komon-kudaribozugisu  Lachneratus* Fraser and Struhsaker, 1991  Pseudamiops Smith, 1954  R. Kudaribozugisu-modoki  Tribe Lepidamiini*  Lepidamia* Gill, 1863  Tribe Ostorhinchini  Ostorhinchus Lacepède, 1802  O. angustatus  O. angustatus  O. angustatus  O. cheni  O. compressus  O. cookii  O. dispar  O. doederleini  O. doederleini  O. fasciatus  O. franssedai  O. fukuii  Futasuji-ishimochi  C. fukuii	Yarica Whitley, 1930	Kagami-tenjikudai-zoku (new)
Cercamia Randall and Smith, 1988 C. eremia Sakura-tenjikudai Cymnapogon Regan, 1905 Kudaribozugisu-zoku Kudaribozugisu G. pillippinus Nan'yo-kudaribozugisu G. vanderbilti**** Komon-kudaribozugisu Lachneratus* Fraser and Struhsaker, 1991 Pseudamiops Smith, 1954 Kudaribozugisu-modoki P. gracilicauda Kudaribozugisu-modoki Tribe Lepidamiini* Lepidamia* Gill, 1863 Tribe Ostorhinchini Suji-ishimochi-zoku (new) Ostorhinchus Lacepède, 1802 Suji-ishimochi O apogonoides Aohana-tenjikudai O aureus Aosuji-tenjikudai O cheni Munahoshi-ishimochi O cookii Suji-ishimochi Coderleini O doederleini O doederleini O fasciatus O franssedai O fususiinishimochi Futasuji-ishimochi O fususiinishimochi Futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi	Yarica hyalosoma	Kagami-tenjikudai
C. eremia Sakura-tenjikudai Gymnapogon Regan, 1905 Kudaribozugisu-zoku G. japonicus Kudaribozugisu G. philippinus Nan'yo-kudaribozugisu G. vanderbilti**** Komon-kudaribozugisu Lachneratus* Fraser and Struhsaker, 1991 Pseudamiops Smith, 1954 Kudaribozugisu-modoki-zoku P. gracilicauda Kudaribozugisu-modoki Tribe Lepidamiini* - Lepidamia* Gill, 1863 - Tribe Ostorhinchini Suji-ishimochi-zoku (new) Ostorhinchus Lacepède, 1802 Suji-ishimochi-zoku (new) O. angustatus Usujima-ishimochi O. apogonoides Aohana-tenjikudai O. aureus Aosuji-tenjikudai O. cheni Munahoshi-ishimochi O. compressus Hira-tenjikudai O. cookii Suji-ishimochi O. dispar Kaburaya-tenjikudai O. doederleini Osuji-ishimochi O. endekataenia Kosuji-ishimochi O. fasciatus O. franssedai O. fasciatus O. fanssedai O. fikuii Futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi	Tribe Gymnapogonini	Kudaribozugisu-zoku (new)
Gymnapogon Regan, 1905 G. japonicus G. philippinus Nan'yo-kudaribozugisu G. vanderbilti**** Komon-kudaribozugisu Lachneratus* Fraser and Struhsaker, 1991 Pseudamiops Smith, 1954 R. Kudaribozugisu-modoki-zoku P. gracilicauda R. Kudaribozugisu-modoki Tribe Lepidamiini*	Cercamia Randall and Smith, 1988	Sakura-tenjikudai-zoku
G. japonicusKudaribozugisuG. philippinusNan'yo-kudaribozugisuG. vanderbilti****Komon-kudaribozugisuLachneratus* Fraser and Struhsaker, 1991-Pseudamiops Smith, 1954Kudaribozugisu-modoki-zokuP. gracilicaudaKudaribozugisu-modokiTribe Lepidamiini*-Lepidamia* Gill, 1863-Tribe OstorhinchiniSuji-ishimochi-zoku (new)Ostorhinchus Lacepède, 1802Suji-ishimochi-zoku (new)O. angustatusUsujima-ishimochiO. apogonoidesAohana-tenjikudaiO. aureusAosuji-tenjikudaiO. cheniMunahoshi-ishimochiO. compressusHira-tenjikudaiO. cookiiSuji-ishimochiO. doederleiniOsuji-ishimochiO. doederleiniOsuji-ishimochiO. endekataeniaKosuji-ishimochiO. fusciatusFurai-ishimochiO. franssedaiNise-futasuji-ishimochiO. fukuiiFutasuji-ishimochi	C. eremia	Sakura-tenjikudai
G. philippinus G. vanderbilti****  Komon-kudaribozugisu  Lachneratus* Fraser and Struhsaker, 1991  Pseudamiops Smith, 1954 Kudaribozugisu-modoki P. gracilicauda Kudaribozugisu-modoki Tribe Lepidamiini*  Lepidamia* Gill, 1863  Tribe Ostorhinchini Suji-ishimochi-zoku (new)  Ostorhinchus Lacepède, 1802 Suji-ishimochi-zoku (new)  O. angustatus Usujima-ishimochi O. apogonoides Aohana-tenjikudai O. cheni Munahoshi-ishimochi O. compressus Hira-tenjikudai O. cookii Suji-ishimochi O. dispar Kaburaya-tenjikudai O. doederleini O. doederleini O. fasciatus Furai-ishimochi O. fasciatus O. franssedai O. fukuii Futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi	Gymnapogon Regan, 1905	Kudaribozugisu-zoku
G. vanderbilti****  Lachneratus* Fraser and Struhsaker, 1991  Pseudamiops Smith, 1954  R. Kudaribozugisu-modoki-zoku  P. gracilicauda  Tribe Lepidamiini*  Lepidamia* Gill, 1863  Tribe Ostorhinchini  Ostorhinchus Lacepède, 1802  O. angustatus  O. angustatus  O. angustatus  O. cheni  O. cheni  O. compressus  Hira-tenjikudai  O. cookii  O. cookii  O. dispar  O. doederleini  O. doederleini  O. fasciatus  O. franssedai  O. fukuii  Futasuji-ishimochi  Futasuji-ishimochi  Cudaribozugisu-modoki  Kudaribozugisu-modoki  Suji-ishimochi  Culumination  Audinibozugisu-modoki  Audinibozugisu-modoki  Suji-ishimochi  Culumination  Humahoshi-zoku (new)  Usujima-ishimochi  Aohana-tenjikudai  Aosuji-tenjikudai  Osuji-ishimochi  Kaburaya-tenjikudai  Osuji-ishimochi  Nise-futasuji-ishimochi  Futasuji-ishimochi  Futasuji-ishimochi	G. japonicus	Kudaribozugisu
Lachneratus* Fraser and Struhsaker, 1991-Pseudamiops Smith, 1954Kudaribozugisu-modokiP. gracilicaudaKudaribozugisu-modokiTribe Lepidamiini*-Lepidamia* Gill, 1863-Tribe OstorhinchiniSuji-ishimochi-zoku (new)Ostorhinchus Lacepède, 1802Suji-ishimochi-zoku (new)O. angustatusUsujima-ishimochiO. apogonoidesAohana-tenjikudaiO. aureusAosuji-tenjikudaiO. cheniMunahoshi-ishimochiO. compressusHira-tenjikudaiO. cookiiSuji-ishimochiO. disparKaburaya-tenjikudaiO. doederleiniOsuji-ishimochiO. endekataeniaKosuji-ishimochiO. fasciatusFurai-ishimochiO. franssedaiNise-futasuji-ishimochiO. fukuiiFutasuji-ishimochi	G. philippinus	Nan'yo-kudaribozugisu
Pseudamiops Smith, 1954 P. gracilicauda Kudaribozugisu-modoki Tribe Lepidamiini*  Lepidamia* Gill, 1863  Tribe Ostorhinchini Suji-ishimochi-zoku (new) Ostorhinchus Lacepède, 1802 Suji-ishimochi-zoku (new)  O. angustatus Usujima-ishimochi O. apogonoides Aohana-tenjikudai O. aureus Aosuji-tenjikudai O. cheni Munahoshi-ishimochi O. compressus Hira-tenjikudai O. dispar Kaburaya-tenjikudai O. doederleini O. doederleini O. fasciatus Furai-ishimochi O. franssedai O. franssedai O. fukuii Futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi	G. vanderbilti****	Komon-kudaribozugisu
P. gracilicauda  Tribe Lepidamini*  Lepidamia* Gill, 1863  Tribe Ostorhinchini  Ostorhinchus Lacepède, 1802  O. angustatus  O. apogonoides  O. aureus  O. cheni  O. compressus  O. cookii  O. dispar  O. dispar  O. doederleini  O. doederleini  O. fasciatus  O. franssedai  O. fukuii  Kudaribozugisu-modoki  Suji-ishimochi-coku (new)  Ouji-ishimochi  Cusuji-ishimochi  Kudaribozugisu-modoki  Lusujina-ishimochi-zoku (new)  Usujima-ishimochi  Aohana-tenjikudai  Aosuji-tenjikudai  Munahoshi-ishimochi  Suji-ishimochi  Kaburaya-tenjikudai  Osuji-ishimochi  Kosuji-ishimochi  Furai-ishimochi  Furai-ishimochi  Furai-ishimochi  Futasuji-ishimochi  Futasuji-ishimochi	Lachneratus* Fraser and Struhsaker, 1991	_
Tribe Lepidamiini*  Lepidamia* Gill, 1863  Tribe Ostorhinchini  Ostorhinchus Lacepède, 1802  O. angustatus  O. apogonoides  O. aveus  O. cheni  O. compressus  Hira-tenjikudai  O. cookii  O. dispar  O. doederleini  O. doederleini  O. fasciatus  O. franssedai  O. fukuii  Eviji-ishimochi	Pseudamiops Smith, 1954	Kudaribozugisu-modoki-zoku
Lepidamia* Gill, 1863–Tribe OstorhinchiniSuji-ishimochi-zoku (new)Ostorhinchus Lacepède, 1802Suji-ishimochi-zoku (new)O. angustatusUsujima-ishimochiO. apogonoidesAohana-tenjikudaiO. aureusAosuji-tenjikudaiO. cheniMunahoshi-ishimochiO. compressusHira-tenjikudaiO. cookiiSuji-ishimochiO. disparKaburaya-tenjikudaiO. doederleiniOsuji-ishimochiO. endekataeniaKosuji-ishimochiO. fasciatusFurai-ishimochiO. franssedaiNise-futasuji-ishimochiO. fukuiiFutasuji-ishimochi	P. gracilicauda	Kudaribozugisu-modoki
Tribe Ostorhinchus Lacepède, 1802  Ostorhinchus Lacepède, 1802  Osuji-ishimochi-zoku (new)  Osuji-ishimochi	Tribe Lepidamiini*	_
Ostorhinchus Lacepède, 1802  O. angustatus  Usujima-ishimochi  O. apogonoides  Aohana-tenjikudai  O. aureus  Aosuji-tenjikudai  O. cheni  Munahoshi-ishimochi  O. compressus  Hira-tenjikudai  O. cookii  Suji-ishimochi  O. dispar  Kaburaya-tenjikudai  O. doederleini  O. doederleini  O. endekataenia  Kosuji-ishimochi  O. fasciatus  Furai-ishimochi  O. franssedai  Nise-futasuji-ishimochi  O. fukuii  Futasuji-ishimochi	Lepidamia* Gill, 1863	_
O. angustatus Usujima-ishimochi O. apogonoides Aohana-tenjikudai O. aureus Aosuji-tenjikudai O. cheni Munahoshi-ishimochi O. compressus Hira-tenjikudai O. cookii Suji-ishimochi O. dispar Kaburaya-tenjikudai O. doederleini O. doederleini O. endekataenia Kosuji-ishimochi O. fasciatus Furai-ishimochi O. franssedai Nise-futasuji-ishimochi O. fukuii Futasuji-ishimochi	Tribe Ostorhinchini	Suji-ishimochi-zoku (new)
O. apogonoides O. aureus Aosuji-tenjikudai O. cheni Munahoshi-ishimochi O. compressus Hira-tenjikudai O. dispar Kaburaya-tenjikudai O. doederleini O. endekataenia Kosuji-ishimochi O. fasciatus Furai-ishimochi O. franssedai Nise-futasuji-ishimochi O. fukuii Futasuji-ishimochi	Ostorhinchus Lacepède, 1802	Suji-ishimochi-zoku (new)
O. aureus O. cheni Munahoshi-ishimochi O. compressus Hira-tenjikudai O. cookii Suji-ishimochi O. dispar Kaburaya-tenjikudai O. doederleini O. doederleini O. endekataenia Kosuji-ishimochi O. fasciatus Furai-ishimochi O. franssedai Nise-futasuji-ishimochi O. fukuii Futasuji-ishimochi	O. angustatus	Usujima-ishimochi
O. cheni Munahoshi-ishimochi O. compressus Hira-tenjikudai O. cookii Suji-ishimochi O. dispar Kaburaya-tenjikudai O. doederleini Osuji-ishimochi O. endekataenia Kosuji-ishimochi O. fasciatus Furai-ishimochi O. franssedai Nise-futasuji-ishimochi O. fukuii Futasuji-ishimochi	O. apogonoides	Aohana-tenjikudai
O. compressusHira-tenjikudaiO. cookiiSuji-ishimochiO. disparKaburaya-tenjikudaiO. doederleiniOsuji-ishimochiO. endekataeniaKosuji-ishimochiO. fasciatusFurai-ishimochiO. franssedaiNise-futasuji-ishimochiO. fukuiiFutasuji-ishimochi	O. aureus	Aosuji-tenjikudai
O. cookii Suji-ishimochi O. dispar Kaburaya-tenjikudai O. doederleini O. endekataenia Kosuji-ishimochi O. fasciatus Furai-ishimochi O. franssedai Nise-futasuji-ishimochi O. fukuii Futasuji-ishimochi	O. cheni	Munahoshi-ishimochi
O. dispar Kaburaya-tenjikudai O. doederleini O. endekataenia Kosuji-ishimochi Kosuji-ishimochi O. fasciatus Furai-ishimochi O. franssedai Nise-futasuji-ishimochi O. fukuii Futasuji-ishimochi	O. compressus	Hira-tenjikudai
O. doederleini O. endekataenia Kosuji-ishimochi O. fasciatus Furai-ishimochi O. franssedai Nise-futasuji-ishimochi O. fukuii Futasuji-ishimochi	O. cookii	Suji-ishimochi
O. endekataenia Kosuji-ishimochi O. fasciatus Furai-ishimochi O. franssedai Nise-futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi	O. dispar	Kaburaya-tenjikudai
O. fasciatus Furai-ishimochi O. franssedai Nise-futasuji-ishimochi Futasuji-ishimochi	O. doederleini	Osuji-ishimochi
O. franssedai Nise-futasuji-ishimochi O. fukuii Futasuji-ishimochi	O. endekataenia	Kosuji-ishimochi
O. fukuii Futasuji-ishimochi	O. fasciatus	Furai-ishimochi
	O. franssedai	Nise-futasuji-ishimochi
O. holotaenia Sujio-tenjikudai	O. fukuii	Futasuji-ishimochi
	O. holotaenia	Sujio-tenjikudai

Scientific name	Standard Japanese name
O. ishigakiensis	Miyako-ishimochi
O. kiensis	Teppo-ishimochi
O. moluccensis	Sehoshi-tenjikudai
O. nigrofasciatus	Minami-futosuji-ishimochi
O. notatus	Kurohoshi-ishimochi
O. novemfasciatus	Tasuji-ishimochi
O. parvulus	Neon-tenjikudai
O. properuptus	Kinsen-ishimochi
O. rubrimacula	Akahoshi-kinsen-ishimochi
O. selas	Nagareboshi
O. semilineatus	Nenbutsudai
O. taeniophorus	Misuji-tenjikudai
O. sp. L	Misuji-tenjikudai L-gata
Tribe Pristiapogonini	Hitosuji-ishimochi-zoku (new)
Pristiapogon Klunzinger, 1870	Hitosuji-ishimochi-zoku (new)
P. exostigma	Yukata-ishimochi
P. fraenatus	Hitosuji-ishimochi
P. kallopterus	Kasuri-ishimochi
Pristicon Fraser, 1972	Akahire-ishimochi-zoku (new)
P. rhodopterus	Futasuji-akahire-ishimochi
P. rufus	Akahire-ishimochi
P. trimaculatus	Misuji-akahire-ishimochi
Tribe Rhabdamiini	Sukashi-tenjikudai-zoku (new)
Rhabdamia Weber, 1909	Sukashi-tenjikudai-zoku
R. gracilis	Sukashi-tenjikudai
Tribe Siphamiini	Hikari-ishimochi-zoku (new)
Siphamia Weber, 1909	Hikari-ishimochi-zoku
S. majimai	Majima-kuro-ishimochi
S. senoui	Senou-hikari-ishimochi*****(new)
S. tubifer	Hikari-ishimochi
S. tubulata	Inazuma-hikari-ishimochi
Tribe Sphaeramiini	Manju-ishimochi-zoku (new)
Apogonichthyoides Smith, 1949	Kakure-tenjikudai-zoku
A. niger	Kuro-ishimochi
A. melas	Montsuki-ishimochi
A. sialis*****	Yokosuji-ishimochi
A. timorensis	Kakure-tenjikudai
A. umbratilis	Madara-tenjikudai
Jaydia Smith, 1961	Tsumaguro-ishimochi-zoku (new)
J. albomarginatus	Shiroheri-tenjikudai
J. carinata	Mato-ishimochi
J. lineata	Tenjikudai
J. truncata	Tsumaguro-ishimochi
Nectamia Jordan, 1917	Namida-tenjikudai-zoku

Scientific name	Standard Japanese name
N. bandanensis	Banda-ishimochi
N. fusca	Hososuji-namida-tenjikudai
N. savayensis	Namida-tenjikudai
Pterapogon* Koumans, 1933	-
Quinca* Mees, 1966	-
Sphaeramia Fowler and Bean, 1930	Manju-ishimochi-zoku
S. nematoptera	Manju-ishimochi
S. orbicularis	Hososuji-manju-ishimochi
Tribe Veruluxini	Kurosuji-sukashi-tenjikudai-zoku (new)
Verulux Fraser, 1972	Kurosuji-sukashi-tenjikudai-zoku (new)
Verulux cypselurus	Kurosuji-sukashi-tenjikudai
Tribe Zoramiini	Itohiki-tenjikudai-zoku (new)
Fibramia Fraser and Mabuchi, 2014	Sangiru-ishimochi-zoku (new)
F. amboinensis	Amami-ishimochi
F. lateralis	Waki-ishimochi
F. thermalis*****	Sangiru-ishimochi
Zoramia Jordan, 1917	Itohiki-tenjikudai-zoku
Z. leptacantha	Itohiki-tenjikudai
Z. viridiventer	Usumomo-tenjikudai
Subfamily Paxtoninae*	_
Paxton* Baldwin and Johnson, 1999	-
Subfamily Pseudamiinae	Numeri-tenjikudai-aka (new)
Pseudamia Bleeker, 1865	Numeri-tenjikudai-zoku
P. amblyuroptera	Hirugi-numeri-tenjikudai
P. gelatinosa	Numeri-tenjikudai
P. hayashii	Sabi-kudaribozugisu-modoki
P. rubra	Usubeni-tenjikudai
P. zonata	Shima-kudaribozugisu-modoki

<sup>\*</sup>No Japanese species included

<sup>\*\*</sup> According to Fraser and Randall (2011), Foa brachygramma, recognized as Taiwan-mato-ishimochi in Japan, is restricted to the Hawaiian Islands.

<sup>\*\*\*</sup>Archamia fucata has been recognized as Sumitsuki-atohiki-tenjikudai in Japan. However, Fraser (2013b) considered *Taeniamia fucata* to be a complex of three species (or populations), the Japanese "species" more correctly being *T. kagoshimanus*. Recent molecular analysis by Mabuchi et al. (2014) showed some genetic differences among the three "species" of *T. fucata*, although each was represented by only one specimen.

<sup>\*\*\*\*</sup>Gymnapogon vanderbilti probably comprises a cryptic species complex.

<sup>\*\*\*\*\*</sup>Senou-hikari-ishimochi is proposed here for a Japanese species, *Siphamia senoui*, the holotype also being the type for the Japanese name.

<sup>\*\*\*\*\*\*</sup>According to Gon (2000), *Amia cathetogramma* Tanaka, 1917 applied to Yokosuji-ishimochi in Japan, is a junior synonym of *Apogonichthyoides sialis* (Jordan and Thompson, 1914). Both scientific names were erroneously included in Appendix A of Mabuchi et al. (2014).

<sup>\*\*\*\*\*\*</sup>According to Allen and Randall (2002), *Apogon sangiensis* Bleeker, 1857 applied to Sangiru-ishimochi in Japan, is a junior synonym of *Apogon thermalis* Cuvier *in* Cuvier and Valenciennes, 1829.

Amioides Smith and Radcliffe in Radcliffe, 1912 オニイシモチ属 タイプ種は Amia grossidens (Amioides polyacanthus = オニイシモチ). 和名の基準種は、Ri によりオニイシモチ. 本タクソンに以前適用されていた Coranthus は新参異名(Fraser, 2013a). オニイシモチ属という名称は、林・岸本(1983)がこの論文の22ページで Coranthus に対して新称として与えた. 本属にはオニイシモチ Amioides polyacanthus のみが知られており、日本にも分布する. 種の標準和名は林(1984)において新称として提唱された.

**Holapogon** Fraser, 1973 (標準和名なし) 1種 (Holapogon maximus) のみが知られているが,日本からの報告はない.

#### Subfamily Apogoninae コミナトテンジクダイ亜科(新称)

34 属を含む. タイプ属は Apogon (コミナトテンジクダイ属: p. 42 で新称定義). 本タイプ属には日本に分布する種が含まれるので, R1 により標準和名はコミナトテンジクダイ亜科, Ri により和名の基準属はコミナトテンジクダイ属となる. 日本産の種

を含む属は24属あり、うち11属は「テンジクダイ」を、10属は「イシモチ」を標準和名の語幹にもつが、これらの語幹はオニイシモチ亜科やヌメリテンジクダイ亜科でもみられるので、R3は適用しなかった。

なお、本亜科に含まれる34属の紹介は、ここで行うと記述が長くなり、新しい分類体系の亜科の構成がみえづらくなる. したがって、全4亜科の紹介の後に、本亜科内に新たに設けられた14族に整理して記述する.

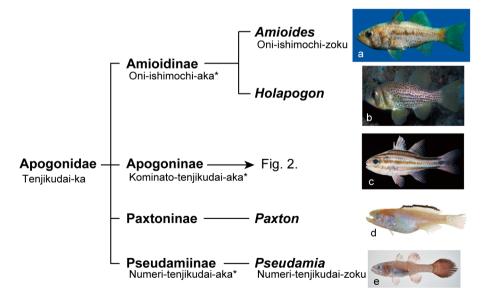
#### Subfamily Paxtoninae (標準和名なし)

タイプ属 Paxton のみからなる.

**Paxton** Baldwin and Johnson, 1999 (標準和名なし) 1種 (*Paxton concilians*) のみ知られているが, 日本からの報告はない.

#### Subfamily Pseudamiinae ヌメリテンジクダイ亜科(新称)

タイプ属 Pseudamia (ヌメリテンジクダイ属) のみ



**Fig. 1.** Schematic representation of the systematics of apogonid subfamilies with standard Japanese names and photos of representative species. Asterisks (\*) indicate new names. Japanese names were not proposed for taxa not occurring in Japanese waters. *a, Amioides polyacanthus; b, Holapogon maximus; c, Ostorhinchus cookii; d, Paxton concilians; e, Pseudamia hayashii.* Image *a* courtesy of Mark Erdmann, *b* courtesy of John E. Randall, *c* from Randall (1997), and *d* courtesy of William White. Image *e* from FishPix (http://fishpix. kahaku.go.jp/fishimage-e/index.html), taken by Hiroshi Senou: KPM-NR 45388 (KPM-NR: Image database of Fishes in the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History).

からなる. 本タイプ属には日本に分布する種が含まれるので, R1 により標準和名はヌメリテンジクダイ 亜科, 和名の基準属は Ri によりヌメリテンジクダイ 属.

Pseudamia Bleeker, 1865 ヌメリテンジクダイ属タイプ種はCheilodipterus polystigma (Pseudamia amblyuroptera = ヒルギヌメリテンジクダイ). 本属の標準和名は、ヌメリテンジクダイという種名とともに Ida and Moyer (1974) が新称として提唱した.和名の基準種は、Riによりヌメリテンジクダイ.7種を含み、日本からはヒルギヌメリテンジクダイP. amblyuroptera、ヌメリテンジクダイP. gelatinosa、サビクダリボウズギスモドキP. hayashii、ウスベニテンジクダイP. rubra、シマクダリボウズギスモドキP. zonata の5種が知られている.

Fourteen Tribes in Subfamily Apogoninae コミナトテンジクダイ亜科(全 35 属)内の 14 族 (Fig. 2)

> Tribe Apogonichthyini ナンヨウマトイシモチ族(新称)

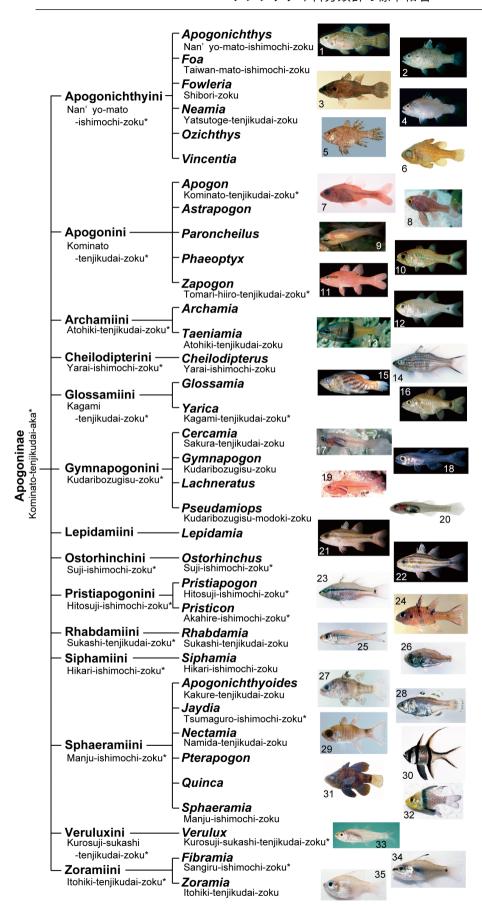
以下の6属を含む.タイプ属はApogonichthys(ナンヨウマトイシモチ属).本タイプ属には日本に分布する種が存在するので、R1により標準和名はナンヨウマトイシモチ族、和名の基準属はRiよりナンヨウマトイシモチ属.

Apogonichthys Bleeker, 1854 ナンヨウマトイシモ チ属 タイプ種は Apogonichthys perdix (ナンヨウマ トイシモチ). 和名の基準種は、Ri によりナンヨウ マトイシモチ. 本基準種は現在の日本国内には分 布しないが、かつての国内であった台湾には分布 しており、当時出版された Okada (1938) に「ナン ヤウマトイシモチ」という和名が上記の学名ととも に掲載されている. ただし、このときの属の和名は マトイシモチ属であり、ナンヨウマトイシモチの他 に現在は別の属に分類されているタイワンマトイシ モチ (A. brachygrammus = Foa brachygramma), マ トイシモチ (A. carinatus = Jaydia carinatus), ナハ マトイシモチ (A. nafae = Fowleria isostigma) が含 まれていた。一方、同じ年の前月(9月)に出版さ れた岡田・松原(1938)でも同じ属の枠組みに同 じ和名「マトイシモチ属」が用いられているが、 Apogonichthys perdix に種の和名はつけられていない (同属内で和名がつけられている種はマトイシモチ のみ). 同年出版の2つの文献で、遅い方でのみ 「ナンヤウマトイシモチ」という和名が使われているので、「新称」の表示はないものの Okada(1938)が種の和名の実質的な初出としてよいかもしれない. 現在用いられている属の和名「ナンヨウマトイシモチ属」の初出も今回の文献調査では確認できなかったが、林(1984)に先立つ富永・上野(1982)には既に掲載されている. これより古く、かつ、上述のような枠組みの「マトイシモチ属」が解体されて以降だと考えられるが、現段階で詳細は不明である. 本属は4種を含み、日本からはマトシボリ A. ocellatus とハワイマトイシモチ A. waikiki の2種が知られている.

Foa Jordan and Evermann in Jordan and Seale, 1905 タイワンマトイシモチ属 タイプ種は Fowleria brachygrammus (Foa brachygramma). 日本からは タイワンマトイシモチのみが知られており、この日 本産の種にはタイプ種の学名が適用されてきた. しかし、Fraser and Randall (2011) によると本タイプ 種の分布域はハワイ諸島に限られており、タイワン マトイシモチの学名はまだ決まっていないことにな る、和名の基準種は、Riによりタイワンマトイシモ チ. 本基準種の和名は、上のナンヨウマトイシモチ 属の項で述べたように、Okada (1938) に記載があ る一方で、前月に出版された岡田・松原(1938) には記載がないので, 前者の文献を実質上の初出 としてよいかもしれない. 属の和名の初出について も今回の文献調査では確認することは出来なかっ たが、林(1984) に先立つ富永・上野(1982) に は既に「タイワンマトイシモチ属」の名称が掲載さ れている. 本属は8種を含むが、日本から知られ ているのはタイワンマトイシモチ F. sp (種小名の扱 いは上記の理由による)のみ.

Fowleria Jordan and Evermann, 1903 シボリ属 タイプ種は Apogon auritus (Fowleria aurita:標準和名なし). 和名の基準種は Ri によりシボリ. 本基準種の和名の初出ははっきりしないが, Tanaka (1927) に「シボリ」の記載がある. 属の和名の初出も今回の調査では確認できなかったが,富永・上野(1982) には「シボリ属」の記載がある. 本属は 8種を含み,日本からはナハマトイシモチ F. isostigma, オビシボリ F. marmorata, シボリダマシ F. vaiulae, シボリ F. variegata の 4種が知られている.

Neamia Smith and Radcliffe in Radcliffe, 1912 ヤツトゲテンジクダイ属 タイプ種は Neamia octospina (ヤツトゲテンジクダイ). 和名の基準種は Ri によりヤツトゲテンジクダイ. 本属の標準和名は、ヤツトゲテンジクダイという種の和名とともに Ida and Moyer



Kanagawa Prefectural Schematic representation of the systematics of tribes and genera of the subfamily Apogoninae with standard Japanese names and photos of representative species. Asterisks (\*) indicate new names. Japanese names were not proposed for taxa not occurring in Japanese waters. Tribe and genus are both called "zoku" in Japanese, but are written with different Chinese ouncticulatus; 9, Paroncheilus affinis; 10, Phaeoptyx conklini; 11, Zapogon evermanni; 12, Archamia bleekeri; 13, Taeniamia leai; 14, Cheilodipterus macrodon; 15, Glossamia wichmanni; 11, 22 and 23 from Randall (1997), and Image 10 from Randall (1996). Images 3, 24 and 29 courtesy of Kiyoshi Hagiwara. Images 5, 6, 13, 15 and 31 taken by Thomas H. Fraser. Images and 35 taken by Kohji Mabuchi. Image 8 courtesy of Robert Myers, 9 courtesy of Robert Myers, characters (herein not shown). Ozichthys, placed within the tribe Apogonichthyini, was not included in Mabuchi et al. (2014), but published immediately thereafter in Fraser (2014). Gymnapogon philippinus; 19, Lachneratus phasmaticus; 20, Pseudamiops gracilicauda; 21, Lepidamia kalosoma; 22, Apogonichthyoides umbratilis; 28, Jaydia truncata; by Hiroshi Senou: 7, KPM-NR 51384 (KPM-NR: Image Database of Fishes in the Foa brachygramma; 3, Fowleria isostigma; 4, Neamia octospina; 5, Ozichthys albimaculosus; 6, Pristiapogon fraenatus; 24, Pristicon trimaculatus; 25, Rhabdamia gracilis; 26, Siphamia tubulata; 27, 7 courtesy of Rudie Kuiter, 18 courtesy of Masahiro Aizawa, 19 courtesy of John E. and 30 from FishPix (http://fishpix.kahaku.go.jp/fishimage-e/index.html), taken Museum of Natural History); 30, KPM-NR 51282. Images 14, 23, 25, 26, Pterapogon kauderni; 31, Quinca mirifica; 32, 18, Yarica hyalosoma; 17, Cercamia cladara; 4pogonichthys ocellatus; 2, cookii; 23, uxuria; 30,

(1974) が新称として提唱した. 本属は 4 種を含み, 日本からはカクシヤツトゲテンジクダイN. articycla とヤツトゲテンジクダイN. octospina の 2 種が知られている.

*Ozichthys* Fraser, 2014 (標準和名なし) *Ozichthys albimaculosus* (Kailola, 1976) の1種のみが知られているが、日本からの報告はない. 本種は以前 *Foa* に分類されていたが Fraser (2014) において新属が立てられた.

*Vincentia* Castelnau, 1872 (標準和名なし) 5種 知られているが、日本からの報告はない.

#### Tribe Apogonini コミナトテンジクダイ族(新称)

以下の5属を含む.タイプ属はApogon(コミナトテンジクダイ属).本タイプ属には日本に分布する種が含まれるので、R1により標準和名はコミナトテンジクダイ族、和名の基準属はRiによりコミナトテンジクダイ属.

Apogon Lacepède. 1801 コミナトテンジクダイ属 (新称) これまで Apogon の標準和名には「テンジ クダイ属」が用いられてきたので注意、タイプ種は Apogon ruber (A. imberbis: 標準和名なし) (Tortonese, 1973). 本タイプ種は日本に分布しない ので、属の標準和名としては下述のように R2 に 従って日本産の普通種の名称から選定した. 本属 は50種を含むが、日本からは以下の10種が知ら れている:トゲナガイシモチ A. caudicinctus, アカフ ジテンジクダイA. crassiceps, ヤリイシモチA. doryssa, リュウキュウイシモチ A. indicus, コミナトテ ンジクダイ A. kominatoensis, オグロテンジクダイ A. seminigracaudus, ヤミテンジクダイ A. semiornatus, ト ウマルテンジクダイ A. susanae, アカネテンジクダイ A. talboti, ハナイシモチ A. unicolor. この 10 種の中 で、コミナトテンジクダイは国内でもっとも広く分布 し、かつ属内の「平均的な」外見をもっていてもっ とも「普通」と判断したので、属の標準和名の基 礎として用いた. Ri により和名の基準種はコミナト テンジクダイ. 本基準種の和名は海老名 (1934) の新種記載時に「小湊天竺鯛(新称)」(図では 「こみなとてんじくだひ」) という表記で提唱された.

**Astrapogon** Fowler, 1907 (標準和名なし) 3種 知られているが、日本からの報告はない.

**Paroncheilus** Smith, 1964 (標準和名なし) 1種 (Paroncheilus affinis) を含むが、日本からの報告はない.

**Phaeoptyx** Fraser and Robins, 1970 (標準和名なし) 3 種知られているが、日本からの報告はない。

Zapogon Fraser, 1972 トマリヒイロテンジクダイ属 (新称) タイプ種は Apogon evermanni (Zapogon evermanni =トマリヒイロテンジクダイ). 本タイプ種は日本に分布するので、R1 により標準和名はトマリヒイロテンジクダイ属、Ri により和名の基準種はトマリヒイロテンジクダイ。本基準種の和名は林ほか(1992) により新称として提唱された. 本属は 2 種を含み、日本からはこの種のみが知られている.

#### Tribe Archamiini アトヒキテンジクダイ族(新称)

以下の2属を含む.タイプ属はArchamia (標準和名なし).本タイプ属はFraser (2013b) により従来と比べて範囲が限定され、その結果、日本産の種を含まなくなった.したがって本族の標準和名はR2により、日本産種を含むもう一方の属 Taeniamia (アトヒキテンジクダイ属)の名に基づいた.Riにより、和名の基準属はアトヒキテンジクダイ属.

Archamia Gill, 1863 (標準和名なし) Fraser (2013b) は, Archamia の範囲を Archamia bleekeri のみに限定し, 残りの種を Taeniamia に分類した. 日本から Archamia bleekeri は知られていない.

Taeniamia Fraser, 2013 アトヒキテンジクダイ属 これまでアトヒキテンジクダイ属には、上述の Archamia が適用されていたので注意. Fraser (2013b) により、これまで Archamia に分類されていた種は、 Archamia bleekeri をのぞきすべて本属に移された. タイプ種は Archamia leai だが、本種は日本に分布 しない. 本属は15種を含むが、日本からは以下の 4種が知られている:フタホシアトヒキテンジクダイ T. biguttata, スミッキアトヒキテンジクダイT. kagoshimanus (学名については後述)、アトヒキテ ンジクダイ T. macroptera, クロオビアトヒキテンジク ダイ T. zosterophora. これらすべての種において和 名の語幹に「アトヒキテンジクダイ」をもつので、 本属の標準和名は、R3 によりアトヒキテンジクダイ 属となる. 和名の基準種は Rii によりアトヒキテン ジクダイ, 本属および基準種の和名の初出は詳ら かではないが、田中(1921)には「跡引天竺鯛 (アトヒキテンヂクタイ)」という種名(および属名) が記載されている. なお、同文献ではこの種に Archamia kagoshimana を適用しているが、この学名 の日本産種への適用は注意を要する. すなわち Gon and Randall (2003) によると、A. kagoshimanus

は Archamia fucata (Cantor, 1849) の新参異名である が、日本ではこれまで例えば林(2013)や Yoshida et al. (2010) のように、T. fucata はスミツキアトヒ キテンジクダイに適用されてきた、さらに、Fraser (2013b) は、T. kagoshimanus を、これまで T. fucata に含まれてきた3種(あるいは個体群)の東アジ ア域に分布するグループに対応するとした. また, これに加えて Mabuchi et al. (2014) の分子系統解 析では、これら3「種」は、それぞれから1個体し か解析に用いていないものの塩基配列の上でも多 少の分化が認められることが示された. つまり, こ れら最近の研究成果に基づくと Taeniamia kagoshimanus は、スミツキアトヒキテンジクダイに 適用されることになる. 上述の田中(1921)のよう に、かつてこの学名は、「アトヒキテンジクダイ」と いう名称と対応しており、この和名は今後も混乱を もたらす可能性がある. アトヒキテンジクダイ(T. *macroptera*) は、本稿でアトヒキテンジクダイ属の 基準種とした種でもあるので、ここで基準標本を明 確にしておくことは、和名の安定化を図る上でたい へん有益である。 そこで以下を、 「アトヒキテンジク ダイ」という和名の基準標本に指定することを提案 する: YCM-AP 4356. 本標本 (2 個体を含む) は 横須賀市自然・人文博物館に所蔵されている青柳 兵司博士の魚類コレクションに含まれるもので、林 (1979) に記載されている標本の大きさ(76.1-77.0 mm) と数および産地 (Itoman, Okinawa Isl.) から、 Aoyagi (1943) が Atohiki-Tenzikudai として記載し ている2標本に対応すると考えられる. 本標本のう ち標準体長が大きい方を基準標本とする. なお, Aoyagi (1943) ではこの 2 標本に Archamia lineolata を当てているが、林(2013)による標本の再調査 によって、従来この学名で呼ばれてきた琉球列島 産の A. lineolata は A. macroptera とするのが妥当と されている.

#### Tribe Cheilodipterini ヤライイシモチ族(新称)

タイプ属 Cheilodipterus (ヤライイシモチ属) のみからなる. 本タイプ属は日本産の種を含むので、R1 により標準和名はヤライイシモチ族、Ri により和名の基準属はヤライイシモチ属.

Cheilodipterus Lacepède, 1801 ヤライイシモチ属タイプ種は Cheilodipterus lineatus (リュウキュウヤライイシモチ). 和名の基準種は Ri によりヤライイシモチ. 本属および基準種の和名の初出は明らかで

はないが、どちらも岡田・松原(1938)には掲載されており、種名は Jordan et al.(1913)にも掲載されている。本属は 17 種を含み、日本からは以下の4 種が知られている:カスミヤライイシモチ C. artus、スダレヤライイシモチ C. intermedius、リュウキュウヤライイシモチ C. quinquelineatus.

#### Tribe Glossamiini カガミテンジクダイ族(新称)

以下の2属を含む.タイプ属は Glossamia.本タイプ属は日本産の種を含まないので、族の標準和名はR2により、もう片方の日本産種を含む属 Yarica(カガミテンジクダイ属:p. 43 で新称定義)に基づいた. Ri により、和名の基準属はカガミテンジクダイ属. なお、Mabuchi et al. (2014) において、この2属の単系統性は、分子系統解析からは支持されていない. 形態的な類似性から暫定的に同じ族に分類されたが、将来的には別の族に分かれる可能性が高い.

**Glossamia** Gill, 1863 (標準和名なし) 11 種知られているが、日本からの報告はない.

Yarica Whitley, 1930 カガミテンジクダイ属(新称)タイプ種は Apogon torresiensis (Yarica torresiensis:標準和名なし). Mabuchi et al. (2014)ではこのタイプ種を「status uncertain」とし、他にもう1種 Yarica hyalosoma (カガミテンジクダイ)を認めている。タイプ種の分布範囲等が不明(タイプ産地は Australia の Cape York)のため、本属の標準和名は R2を暫定的に適用し、日本産の種であることが確認されているカガミテンジクダイに基づいた。Riにより和名の基準種はカガミテンジクダイ。本基準種の和名は、Hayashi (1982)により新称として提唱された。日本からはこの1種のみが知られている。

#### Tribe Gymnapogonini クダリボウズギス族(新称)

以下の4属を含む.タイプ属は Gymnapogon (クダリボウズギス属).本タイプ属は日本産の種を含むので、R1 により標準和名はクダリボウズギス族、Ri により和名の基準属はクダリボウズギス属.

*Cercamia* Randall and Smith, 1988 サクラテンジクダイ属 タイプ種は *Cercamia cladara* (標準和名なし). 和名の基準種は Ri によりサクラテンジクダイ. 本属の名称は, Hayashi (1991) により新称として

提唱されたが、種名としてのサクラテンジクダイは 藍澤・瀬能 (1981) が提唱した. 本属は 2 種を含 み、日本からはサクラテンジクダイ *C. eremia* のみ が知られている.

Gymnapogon Regan, 1905 クダリボウズギス属タイプ種は Gymnapogon japonicus (クダリボウズギス). 和名の基準種は Ri によりクダリボウズギス. 本基準種の和名は,田中 (1915) によって新称として提唱された.このとき本種は,テンジクダイ科とは異なる新科新属と考えられたが,松原 (1955)によってテンジクダイ科内の独立の亜科の模式属,クダリボウズギス属の1種として扱われた.本属は7種を含み,日本からは以下の3種が知られている:クダリボウズギス G. japonicus,ナンヨウクダリボウズギス G. philippinus,コモンクダリボウズギス G. vanderbilti [urospilotus は新参異名: Mabuchi et al. (2014)].

**Lachneratus** Fraser and Struhsaker, 1991 (標準和名なし) 1種 (*Lachneratus phasmaticus*) が知られているが、日本からの報告はない.

Pseudamiops Smith, 1954 クダリボウズギスモドキ属 タイプ種は Pseudamiops pellucidus (標準和名なし). 和名の基準種は Ri によりクダリボウズギスモドキ. 本属の標準和名は, クダリボウズギスモドキという種の和名とともに Ida and Moyer (1974) が新称として提唱した. 5 種を含み, 日本からはクダリボウズギスモドキ P. gracilicauda のみが知られている.

#### Tribe Lepidamiini (標準和名なし)

タイプ属 Lepidamia のみからなる.

**Lepidamia** Gill, 1863 (標準和名なし) 4種が知られているが、日本からの報告はない.

#### Tribe Ostorhinchini スジイシモチ族(新称)

タイプ属 Ostorhinchus (スジイシモチ属: p. 44 で新称定義) のみからなる. 本タイプ属は日本産の種を含むので、R1 により標準和名はスジイシモチ族、Ri により和名の基準属はスジイシモチ属.

**Ostorhinchus** Lacepède, 1802 スジイシモチ属(新称) タイプ種は Ostorhinchus fleurieu (標準和名なし). 従来の Apogon に含まれていた種のうち, 体表の斑紋が縦帯である多数の種を含む. 国内の代表的な種(例えば、オオスジイシモチやコスジイシ

モチ, タスジイシモチ等) の標準和名において 「スジイシモチ」が語幹としてつくことから、R3 によ り属の標準和名はスジイシモチ属とした. Rii によ り、和名の基準種はスジイシモチ、本基準種の和 名は、林・岸本 (1983) により O. cookii (Apogon cookii) に新称として提唱された. なお Mabuchi et al. (2014) では、今のところ体表の斑紋以外の形 態形質で区別できないことから、本属内に横帯の種 (ミヤコイシモチなど) も若干含んでいるが、同論 文中の分子系統学的な解析ではこれらの種と縦帯 種との単系統性は否定されており、 形態学的な研 究が進めば全く独立の属に分類される可能性が高 い. 現在のところ本属に93種を含めているが、日 本からは以下の26種が知られている:ウスジマイ シモチ O. angustatus, アオハナテンジクダイO. apogonoides, アオスジテンジクダイ O. aureus, ムナホ シイシモチ O. cheni, ヒラテンジクダイ O. compressus, スジイシモチ O. cookii, カブラヤテンジクダイ O. dispar, オオスジイシモチ O. doederleini, コスジイシ モチ O. endekataenia, フウライイシモチ O. fasciatus, ニセフタスジイシモチ O. franssedai, フタスジイシモ チ O. fukuii, スジオテンジクダイ O. holotaenia, ミヤ コイシモチ O. ishigakiensis, テッポウイシモチ O. kiensis, セホシテンジクダイ O. moluccensis, ミナミフ トスジイシモチ O. nigrofasciatus, クロホシイシモチ O. notatus, タスジイシモチ O. novemfasciatus, ネオン テンジクダイO. parvulus, キンセンイシモチO. properuptus, アカホシキンセンイシモチO. rubrimacula, ナガレボシ O. selas, ネンブツダイ O. semilineatus, ミスジテンジクダイ O. taeniophorus, ミ スジテンジクダイ L 型 O. sp. L.

本属には2つの亜属が含まれる. 基亜属 Ostorhinchus のタイプ種は属と同じなので, 属と同様の理由で標準和名はスジイシモチ亜属, 基準種はスジイシモチ. もう一つの亜属 Brephamia のタイプ 種は Amia parvula Smith and Radcliffe, 1912 (O. parvulus ネオンテンジクダイ). 日本に分布する種なので, 標準和名はネオンテンジクダイ亜属, 基準種はネオンテンジクダイ. Mabuchi et al. (2014) は,後者の亜属にネオンテンジクダイの他にもう一種, O. neotes (Allen, Kuiter, and Randall, 1994) を「uncertain」としながら含めているが,日本からの報告はない.

#### Tribe Pristiapogonini ヒトスジイシモチ族(新称)

以下の2属を含む. タイプ属は Pristiapogon (ヒ

トスジイシモチ属: p. 45 で新称定義). 本タイプ属は日本産の種を含むので, R1 により標準和名はヒトスジイシモチ族, Ri により, 和名の基準属はヒトスジイシモチ属.

Pristiapogon Klunzinger, 1870 ヒトスジイシモチ属 (新称) タイプ種は Apogon fraenatus (Pristiapogon fraenatus = ヒトスジイシモチ). 本種は日本に分布 するので、R1 により標準和名はヒトスジイシモチ属、Ri により和名の基準種はヒトスジイシモチ. 本基準種の和名は松原 (1955) により新称として提唱された. 本属は 7種を含み、日本からは以下の 3種が知られている: ユカタイシモチ P. exostigma、ヒトスジイシモチ P. fraenatus、カスリイシモチ P. kallopterus.

Pristicon Fraser, 1972 アカヒレイシモチ属(新 タイプ 種 は Apogon trimaculatus (Pristicon 称) trimaculatus = ミスジアカヒレイシモチ). 日本から は以下の全3種が知られている:フタスジアカヒレ イシモチ P. rhodopterus, アカヒレイシモチ P. rufus, ミスジアカヒレイシモチ P. trimaculatus. すべての種 において和名の語幹に「アカヒレイシモチ」をもつ ので、R3により標準和名はアカヒレイシモチ属、 Rii により和名の基準種はアカヒレイシモチ. 本基 準種の和名の初出は以下のように明らかでない. 日本において、本種には最近まで Apogon rhodopterus が適用されていたが、林(2013) により P. rufus が適 用されている. この以前の学名で本種の日本におけ る記録をたどると、田中(1930)で「従来、日本及台 湾から記載せられていない」という注釈があるので, これが初記録と判断できるが、このときに和名は提唱 されなかった. 岡田・松原(1938)でも和名は提唱さ れていないが、1ヶ月後の10月に出版されたOkada (1938) には「アカヒレイシモチ」が使用されている. 「新称」と明記されていないが、この文献が和名の初 出かもしれない.

#### Tribe Rhabdamiini スカシテンジクダイ族(新称)

タイプ属 Rhabdamia(スカシテンジクダイ属)の みからなる。本タイプ属は日本産の種を含むので、 R1 により標準和名はスカシテンジクダイ族、Ri に より和名の基準属はスカシテンジクダイ属。

**Rhabdamia** Weber, 1909 スカシテンジクダイ属 タイプ種は Rhabdamia clupeiformis (標準和名なし). 本タイプ種は日本からは知られてないので, R2 に より本属の標準和名はこれまで知られている日本産の唯一の種 (スカシテンジクダイ R. gracilis) にもと

づいた. Ri により和名の基準種はスカシテンジクダイ. 本属の標準和名は, スカシテンジクダイという種の和名とともに Ida and Moyer (1974) が新称として提唱した.

従来 Rhabdamia の亜属とされてきた Bentuviaichthys Smith, 1961, Rhabdamia Weber, 1909, Verulux Fraser, 1972 のうち,最後の Verulux は新しく定義された標準和名をもつ本属に含まれず(Tribe Veruluxini を参照),残りの 2 亜属が本属に含まれる. 亜属 Rhabdamia のタイプ種は属と同じなので,属と同じ理由で標準和名はスカシテンジクダイ亜属,基準種はスカシテンジクダイ.世界で 4 種が知られているが,日本からは現在までのところスカシテンジクダイのみが報告されている. 亜属 Bentuviaichthys はタイプ種 Bentuviaichthys nigrimentum Smith, 1961 のみからなるが,日本からの報告はない.

#### Tribe Siphamiini ヒカリイシモチ族(新称)

タイプ属 Siphamia (ヒカリイシモチ属) のみからなる. 本属には日本産の種が含まれるので, R1 により標準和名はヒカリイシモチ族, Ri により和名の基準属はヒカリイシモチ属.

Siphamia Weber, 1909 ヒカリイシモチ属 タイプ 種は Siphamia tubifer (ヒカリイシモチ). 和名の基 準種は Ri によりヒカリイシモチ. 本属の標準和名 は、ヒカリイシモチという種の和名とともに Tominaga (1964) が新称として提唱した. 本属は 23 種を含 み、日本からは以下の4種が報告されている:マ ジマクロイシモチ S. majimai, S. senoui, ヒカリイシ モチ S. tubifer, イナズマヒカリイシモチ S. tubulata. このうち S. senoui は Gon and Allen (2012) により新 種記載されたが、標準和名はまだない. そこで、 ここにホロタイプ標本(KPM-NI 5727)を新しい標 準和名の基準標本として指定し、「セノウヒカリイシ モチ (新称) | を提唱する. ここで「セノウ」は、 本種のタイプ標本を採集・撮影した瀬能 宏博士 (神奈川県立生命の星・地球博物館:本ホロタイ プ標本を所蔵) に敬意を表してつけられた種小名 (senoui) に基づいている.

#### Tribe Sphaeramiini マンジュウイシモチ族(新称)

以下の6属を含む. タイプ属は Sphaeramia (マンジュウイシモチ属). 本タイプ属は日本産の種を

含むので、R1 により標準和名はマンジュウイシモチ族、Ri により和名の基準属はマンジュウイシモチ属。

Apogonichthyoides Smith, 1949 カクレテンジクダ イ属 タイプ種は Amia uninotata (Apogonichthvoides uninotatus:標準和名なし). 和名の基準種は Ri に よりカクレテンジクダイ. 本属の和名は林(2013) により新称として提唱された. 基準種の名称は林・ 岸本(1983)によって新称として提唱された(この ときの学名は Apogon fraxineus). 本属には 24 種が 知られ、日本からは以下の5種が知られている:ク ロイシモチ A. niger, モンツキイシモチ A. melas, ヨ コスジイシモチ A. sialis, カクレテンジクダイ A. timorensis, マダラテンジクダイ A. umbratilis. なお, これまで日本では、ヨコスジイシモチの学名には林 (2013) にあるように A. cathetogramma が適用され てきた. Gon (2000) は、これを A. sialis の新参異 名としたが、やはり別の種であるという見方も存在 する(林,研究中).

Jaydia Smith, 1961 ツマグロイシモチ属(新称) タイプ種は Apogon ellioti [Apogon truncatus の新 参異名 (Gon, 1997)] (ツマグロイシモチ). 本タイプ種は日本に分布するので, R1 により標準和名はツマグロイシモチ属, Ri により和名の基準種はツマグロイシモチ. 本基準種の和名の初出は詳らかではないが, Jordan et al. (1913) には掲載されている. 本属には 17種が知られ、日本からは以下の4種が知られている:シロヘリテンジクダイJ. albomarginatus, マトイシモチ J. carinata, テンジクダイJ. lineata, ツマグロイシモチ J. truncata.

Nectamia Jordan, 1917 ナミダテンジクダイ属 タイプ種は Apogon fuscus (Nectamia fusca = ホソスジナミダテンジクダイ). 和名の基準種は Ri によりナミダテンジクダイ. 本属の和名は林 (2013) により,基準種の和名は Hayashi(1982)により新称として提唱された. 本属は 9 種を含み,日本からは以下の 3 種が知られている:バンダイシモチ N. bandanensis,ホソスジナミダテンジクダイ N. fusca,ナミダテンジクダイ N. savayensis.

**Pterapogon** Koumans, 1933 (標準和名なし) 1 種 (*Pterapogon kauderni*) が知られているが, 日本からの報告はない.

**Quinca** Mees, 1966 (標準和名なし) 1種 (Quinca mirifica) が知られているが、日本からの報告はない.

**Sphaeramia** Fowler and Bean, 1930 マンジュウイシモチ属 タイプ種は Apogon nematopterus (Sphaeramia nematoptera =マンジュウイシモチ). 和名の基準種はRiによりマンジュウイシモチ. 本属は次の2種を含む:

マンジュウイシモチ S. nematoptera, ホソスジマンジュウイシモチ S. orbicularis. ともにインド・太平洋の熱帯域に広く分布し,日本からも知られている.両種の和名は青柳 (1941a, b) によりパラオ産の標本をもとに新称として提唱されたが、後に Hayashi and Kishimoto(1980)が西表島産の標本を日本初記録として記載し,同じ和名を採用した.この文献では属の和名を提唱していないが、後に林 (1984) によってマンジュウイシモチ属という名称が初めて使用された.

#### Tribe Veruluxini クロスジスカシテンジクダイ族(新称)

タイプ属 Verulux (クロスジスカシテンジクダイ属: p. 46 で新称定義) のみからなる. 本タイプ属には日本産の種が含まれるので標準和名は R1 によりクロスジスカシテンジクダイ族, Ri により和名の基準属はクロスジスカシテンジクダイ属.

Verulux Fraser, 1972 クロスジスカシテンジクダイ属 (新称) タイプ種は Rhabdamia cypselurus (Verulux cypselurus = クロスジスカシテンジクダイ). 本タイプ種は日本に分布するので、R1 により標準和名はクロスジスカシテンジクダイ属、Ri により和名の基準種はクロスジスカシテンジクダイ。本基準種の和名は、Ida and Moyer (1974) が新称として提唱した。本属にはこの1種のみが知られている。

#### Tribe Zoramiini イトヒキテンジクダイ族(新称)

以下の2属を含む.タイプ属はZoramia(イトヒキテンジクダイ属).本タイプ属には日本産の種が含まれるので、R1により標準和名はイトヒキテンジクダイ族、Riにより和名の基準属はイトヒキテンジクダイ属.

Fibramia Fraser and Mabuchi, 2014 サンギルイシモチ属(新称) タイプ種は Apogon thermalis (Fibramia thermalis = サンギルイシモチ). 本タイプ種は日本に分布するので、R1 により標準和名はサンギルイシモチ属、Ri により和名の基準種はサンギルイシモチ・本基準種の和名は、青柳(1941b)によりパラオ産の標本をもとに新称として提唱されたが、後に Hayashi(1980)が石垣島産の標本を日本初記録として記載し、同じ和名を使用した. 以下の全3種が日本にも分布する:アマミイシモチ F. amboinensis、ワキイシモチ F. lateralis、サンギルイシモチ F. thermalis. なお、これまで日本では、サンギルイシモチの学名

としては例えば林(2013)のように A. sangiensis が使用されてきた. Allen and Randall(2002)は、これを A. thermalis の新参異名としたが、やはり別の種であるという見方も存在する(林、研究中).

**Zoramia** Jordan, 1917 **イトヒキテンジクダイ属** タイプ種は *Apogon graeffii* (*Zoramia leptacantha* = イトヒキテンジクダイ). 和名の基準種は Ri によりイトヒキテンジクダイ. 本属の和名は林 (2013) により、基準種の和名は Ida and Moyer (1974) により、新称として提唱された. 本属は 6 種を含み、日本からは以下の 2 種が知られている:イトヒキテンジクダイ Z. leptacantha、ウスモモテンジクダイ Z. viridiventer.

#### 謝 辞

神奈川県立生命の星・地球博物館の瀬能 宏博 士には、標準和名の決定方法や基準タクサの選び方 に関して貴重なご意見を頂き、また、いくつかの参考 文献と魚類画像もご提供いただいた. 魚類の画像に 関しては、以下の皆様にご協力いただいた:藍澤正宏 (宮内庁), Mark V. Erdmann (Conservation International, Bali, Indonesia), 萩原清司 (横須賀市自然・人文博物 館), Rudie H. Kuiter (Aquatics Photographics, Seaford, Australia), Robert F. Myers (Seaclicks/Coral Graphics, Wellington, Florida, USA), John E. Randall (Bishop Museum, Honolulu, Hawaii, USA), William T. White (CSIRO, Australian National Fish Collections, Hobart, Tasmania, Australia), Jeffrey T. Williams (Smithsonian, National Museum of Natural History, Washington D. C., USA). 以上の方々に厚く御礼申し上げる. 本研究の 一部は、昭和聖徳記念財団の学術研究助成および科 学技術振興機構 (JST) の CREST の支援を受けて行 われた.

#### 引 用 文 献

- 藍澤正宏・瀬能 宏. 1991. 徳島県牟岐町大島およびその周辺の浅海性魚類相. 徳島県立博物館研究報告, 1:73-208.
- Allen, G. R. and J. E. Randall. 2002. Four new Indo-Pacific species of cardinalfishes (Apogonidae). Aqua, J. Ichthyol. Aquat. Biol., 5: 115–126.
- 青柳兵司. 1941a. 南洋パラオの魚類. 科学南洋, 4: 55-61.
- 青柳兵司. 1941b. 南洋パラオの魚類 (二). 科学南洋, 4:53-62.
- Aoyagi, H. 1943. Coral fishes. Part 1. Maruzen, Tokyo. viii + xii + 224 pp., 37 pls.

- Baldwin, C. C. and G. D. Johnson. 1999. *Paxton concilians*: a new genus and species of Pseudamine apogonid (Teleostei: Percoidei) from northwestern Australia: the sister group of the enigmatic *Gymnapogon*. Copeia, 1999: 1050–1073.
- Bergman, L. M. R. 2004. The cephalic lateralis system of cardinalfishes (Perciformes: Apogonidae) and its application to the taxonomy and systematics of the family. Dissertation, University of Hawaii, Honolulu, Hawaii. x + 373 pp.
- Betancur-R., R., R. E. Broughton, E. O. Wiley, K. Carpenter, J. Andrés López, C. H. Li, N. I. Holcroft, D. Arcila, M. Sanciangco, J. C. Cureton II, F. F. Zhang, T. Buser, M. A. Campbell, J. A. Ballesteros, A. Roa-Varon, S. Willis, W. Calvin Borden, T. Rowley, P. C. Reneau, D. J. Hough, G. Q. Lu, T. Grande, G. Arratia and G. Ortí. 2013. The tree of life and a new classification of bony fishes. PLOS Currents Tree of Life. 2013 Apr 18. Edition 1. doi: 10.1371/currents.tol.53ba26640df0ccaee 75bb165c8c26288.
- 海老名謙一. 1934. 小湊産魚類二新種. 水産講習 所研究報告, 30: 127-133.
- Eschmeyer, W.N. and J. D. Fong. 2014. Species by family/subfamily in the Catalog of Fishes. http://researcharchive.calacademy.org/research/ichthyology/catalog/SpeciesByFamily.asp (accessed 22 Dec. 2014).
- Fraser, T. H. 1972. Comparative osteology of the shallow water cardinal fishes (Perciformes: Apogonidae) with references to the systematics and evolution of the family. Bull. J. L. B. Smith Inst. Ichthyol. Rhodes Univ. Grahamstown, 34: v + 105 pp., 44 pls.
- Fraser, T. H. 2008. Cardinalfishes of the genus *Nectamia* (Apogonidae, Perciformes) from the Indo-Pacific region with descriptions of four new species. Zootaxa, 1691: 1–52.
- Fraser, T. H. 2013a. Family status of *Amioides* and the senior synonym of *Coranthus* (Percomorpha: Apogonidae). Copeia, 2013: 23–30.
- Fraser, T. H. 2013b. A new genus of cardinalfish (Apogonidae: Percomorpha), redescription of *Archamia* and resemblances and relationships with *Kurtus* (Kurtidae: Percomorpha). Zootaxa, 3714: 1–63.
- Fraser, T. H. 2014. A new genus of cardinalfish from tropical Australia and southern New Guinea (Percomorpha: Apogonidae). Zootaxa, 3852: 283–293.
- Fraser, T. H. and G. R. Allen. 2010. Cardinalfishes of the genus *Apogonichthyoides* Smith, 1949 (Apogonidae) with a description of a new species from the West-Pacific region. Zootaxa, 2348: 40–56.
- Fraser, T. H. and J. E. Randall. 2011. Two new species of *Foa* (Apogonidae) from the Pacific Plate, with redescriptions of *Foa brachygramma* and *Foa fo*. Zootaxa, 2988: 1–27.
- Gon, O. 1987. Redescription of Apogon (Ostorhinchus) fleurieu (Lacepède, 1802) with notes on its synonymy.

- Jpn. J. Ichthyol., 34: 138-145.
- Gon, O. 1997. Revision of the cardinalfish subgenus *Jaydia* (Perciformes, Apogonidae, *Apogon*). *In* Skelton and Lutjeharms, 1997, The J.L.B. Smith Institute of Ichthyology 50 years. Trans. Roy. Soc. S. Afr., 51(1996): 147–194.
- Gon, O. 2000. The taxonomic status of the cardinalfish species Apogon niger, A. nigripinnis, A. pharaonis, A. sialis, and related species (Perciformes: Apogonidae). J.L.B. Smith Institute of Ichthyology, Special Publications, 65: 1–20.
- Gon, O. and G. R. Allen. 2012. Revision of the Indo-Pacific cardinalfish genus *Siphamia* (Perciformes: Apogonidae). Zootaxa, 3294: 1–84.
- Gon, O. and J. E. Randall. 2003. Revision of the Indo-Pacific cardinalfish genus *Archamia* (Perciformes: Apogonidae), with description of a new species. Indo-Pacific Fishes, 35: 1–49, pls. 1–3.
- Greenfield, D. W., R. C. Langston and J. E. Randall. 2005. Two new cardinalfish species of the Indo-Pacific fish genus *Zoramia*. Proc. Calif. Acad. Sci., 4th Ser., 56: 625–637.
- 林 公義. 1979. 横須賀市博物館所蔵魚類資料目録 (I) (Apogonidae・テンジクダイ科). 横須賀市博 物館資料集, (4): 1-15.
- Hayashi, M. 1980. First records of three Apogonid fishes from Japan. Japan. J. Ichthyol., 27: 261–267.
- Hayashi, M. 1982. Six apogonid fishes from islands of Okinawa, southern Japan. Sci. Rept. Yokosuka City Mus., (29): 23–50.
- 林 公義. 1984. テンジクダイ科 (ヤセムツ属を除く). 益田 一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝 彌・吉野哲夫 (編), pp. 139-146, pls. 129-133, 139. 日本産魚類大図鑑. 東海大学出版会, 東京.
- Hayashi, M. 1991. Redescription of *Cercamia eremia* (Perciformes: Apogonidae) from Japan, with comments of the osteological characters. Sci. Rept. Yokosuka City Mus., (39): 35–44.
- Hayashi, M. 2002. Family Apogonidae. Pages 750–779, 1544–1545 *in* T. Nakabo, ed. Fishes of Japan with pictorial keys to the species, English edition. Tokai Univ. Press, Tokyo.
- 林 公義. 2013. テンジクダイ科. 中坊徹次(編), pp. 826-864, 1979-1986. 日本産魚類検索 全種 の同定 第 3 版. 東海大出版会,秦野.
- Hayashi, M. and H. Kishimoto. 1980. Four apogonid fishes from Ishigaki and Iriomote Islands, Okinawa, Japan. Sci. Rept. Yokosuka City Mus., (27): 43–53.
- 林 公義・岸本浩和. 1983. 西表島(琉球列島)産 魚類 III. テンジクダイ科(テンジクダイ亜科). 横 須賀市博物館研究報告(自然科学), (31): 15–46, pls. 2–8.
- 林 公義・瀬能 宏・藍澤正宏・益田 一. 1992. 日本初記録のテンジクダイ科 2 種. I. O. P. Diving

- News, 3: 2–5.
- Ida, H. and J. T. Moyer. 1974. Apogonid fishes of Miyakejima and Ishigaki-jima, Japan, with description of a new species. Japan. J. Ichthyol., 21: 113–128.
- Johnson, G. D. 1984. Percoidei: development and relationships. Pages 464–498 in H. G. Moser, W. J. Richards, D. M. Cohen, M. P. Fahay, A. W. Kendall, Jr. and S. L. Richardson, eds. Ontogeny and systematics of fishes. Am. Soc. Ichthyol. Herpetol. Spec. Publ. 1.
- Jordan, D. S., S. Tanaka and J. O. Snyder. 1913. A catalogue of the fishes of Japan. J. Coll. Sci., Imp. Univ. Tokyo, 33, art. 1: 1–497.
- Mabuchi, K., T. H. Fraser, H. Y. Song, Y. Azuma and M. Nishida. 2014. Revision of the systematics of the cardinalfishes (Percomorpha: Apogonidae) based on molecular analyses and comparative reevaluation of morphological characters. Zootaxa, 3846: 151–203.
- Mabuchi, K., N. Okuda and M. Nishida. 2006. Molecular phylogeny and stripe pattern evolution in the cardinalfish genus *Apogon*. Mol. Phylogenet. Evol., 38: 90–99.
- 松原喜代松. 1955. 魚類の形態と検索, I. 石崎書店, 東京, xii + 790 pp.
- 森岡弘之. 1989. 鳥類の属の和名について. 日本鳥 学会誌, 37: 149-150.
- Nelson, J. S. 2006. Fishes of the world, 4th ed. John Wiley & Sons, Inc., Hoboken, New Jersey. xix + 601 pp.
- Okada, Y. 1938. A catalogue of vertebrates of Japan. Maruzen, Tokyo, iv + 412 pp.
- 岡田彌一郎·松原喜代松. 1938. 日本産魚類検索. 三省堂,東京, XI + 584 pp.
- Randall, J. E. 1996. Caribbean reef fishes. Third Edition, revised and enlarged. T.F.H. Publications, Inc. Ltd., Neptune City, New Jersey. 368 pp.
- Randall, J. E. 1997. Randall's tank photos. Collection of 10,000 large-format photos (slides) of dead fishes. Available from FishBase (http://www.fishbase.se/search.php).
- Randall, J. E. 2005. Reef and shore fishes of the South Pacific, New Caledonia to Tahiti and the Pitcairn Islands. University of Hawai'i Press, Honolulu, Hawaii. xii + 707 pp.
- 瀬能 宏. 2002. 標準和名の安定化に向けて. 青木淳一・奥谷喬司・松浦啓一(編), pp. 192-225. 虫の名, 貝の名, 魚の名 和名にまつわる話題. 東海大学出版会,東京.
- 田中茂穂. 1915. 日本産魚類の十新種. 動物学雑誌, 27: 565-568.
- 田中茂穂. 1921. 日本魚学上巻. 裳華房, 東京, 4 +18+482 pp.
- Tanaka, S. 1927. Figures and descriptions of the fishes of Japan including Riukiu Islands, Bonin Islands, Formosa, Kurile Islands, Korea, and Southern Sakhalin. Vol. XXXVIII, Maruzen Co., Ltd., Tokyo, pp. 709–740, pls. CLXII and CLXIII.
- 田中茂穂. 1930. 魚類の研究資料 (2) IX 高知懸下

- の魚. 動物学雑誌, 42:307-313.
- Thacker, C. E. 2014. Species and shape diversification are inversely correlated among gobies and cardinalfishes (Teleostei: Gobiiformes). Org. Divers. Evol., 14: 419–436.
- Thacker, C. E. and D. M. Roje. 2009. Phylogeny of cardinalfishes (Teleostei: Gobiiformes: Apogonidae) and the evolution of visceral bioluminescence. Mol. Phylogenet. Evol., 52: 735–745.
- Tominaga, Y. 1964. Notes on the fishes of the genus *Siphamia* (Apogonidae), with a record of S. *versicolor* from the Ryukyu Islands. Japan. J. Ichthyol., 12: 10–17. 富永義昭・上野輝彌. 1982. 日本産魚類目録第二次

- 資料. 219 pp.
- Tortonese, E. 1973. Apogonidae. Page 365 *in* J. C. Hureau and T. Monod, eds. Check-list of the fishes of the northeastern Atlantic and of the Mediterranean (CLOFNAM), Vol. 1, UNESCO, Paris.
- Yoshida, T., S. Harazaki and H. Motomura. 2010. Apogonid fishes (Teleostei: Perciformes) of Yaku-shima Island, Kagoshima Prefecture, southern Japan. Pages 27–64 *in* H. Motomura and K. Matsuura eds. Fishes of Yaku-shima Island –A World Heritage island in the Osumi Group, Kagoshima Prefecture, southern Japan. Natl. Mus. Natr. Sci., Tokyo.